

國學院大學 文学部

2021

日本文学科



中国文学科



外国語文化学科



史学科



哲学科



もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

文学部

organization chart

日本文学科

外国語
文化学科

哲学科

史学科

中国文学科

教職課程





文学部の学士課程教育3ポリシー — P 2

文学部長 挨拶 — P 3

文学部FAQ — P 4

学科紹介

日本文学科 — P 5

中国文学科 — P11

外国語文化学科 — P17

史学科 — P23

哲学科 — P29

5 学科学生座談会 — P35

教職課程 — P40

各種資格 — P43

大学院 — P45

奨学金制度 — P46

活躍する卒業生 — P47

就職・進学の実績 — P48

留学・国際交流 — P50

ボランティア・学内ワークスタディ — P52

文学部の学士課程教育3ポリシー

○ 卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、日本ならびに諸外国の文化を深く理解し、日本文化を世界に発信するための知識と技能を身につけた学生に対して、卒業を認定するとともに、学士課程の学位を授与します。

文学部の5つの学科（日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科）は、文学部全体の方針を具体化した卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を定めています。

○ 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）で示した能力と態度を身につけるために、全学的な共通教育プログラムの学修を前提として、5つの学科（日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科）が専門教育科目を編成し、それらの系統的な履修によって教育目標を達成します。

○ 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

文学部は、日本や外国の言語・文化・思想・歴史に対して強い興味をもち、5つの学科（日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科）が扱うそれぞれの学問領域に関して、主体的な姿勢で学修に取り組むことのできる学生を受け入れます。



好きこそものの……



國學院大學は明治15年に創設された皇典講究所を母体として出発いたしました。我が国においてこのように長い歴史を有する大学はごくわずかしかなことはご承知のことと思います。そして、文学部はこの長きにわたって日本文化の特質を中心に研究を続け、創立当初の国史、国文専攻から裾野を拡げつつ、諸外国の言語・文化をも広く研究する機関として成長、発展を遂げました。こうして現在の5学科体制が整えられたのです。日本文学科、中国文学科、外国語文化学科、史学科、哲学科というそれぞれの専門領域を担った学科は、さらに各学科の中において時代別や専門分野別の専攻に分かれており、所属する学生たちは、1年生から3年生に至る段階で専攻等を自ら選択して徐々にその学問世界の深みへと進んでいくのです。また、学部卒業からさらに学問研究を究めていきたいという者には、大学院進学という専門領域の研究者となる道も開かれているのです。

このような学問研究の伝統こそが明治から平成、そして令和という時間を貫いていると言ってもよいでしょう。その結実の一つとして、皆さんの身近なところでは、中学校、高等学校の教室で、国語や社会、地理歴史、公民などの授業において、どこかで國學院大學文学部出身の先生に教わった経験があるのではないのでしょうか。この教職という仕事に就いた卒業生の数の多さは、文学部の学問研究の伝統をそのまま現しているとも言えるのです。

しかし、学問伝統が長いから社会での活躍が期待できるというわけではありません。大学での学びがそのまま仕事へつながるものではないのです。肝心なことは、学問伝統を身につけた学生一人一人が自らの学問をどう育てていくかにあるのです。そして、その種は大学へ進学しようという皆さん一人一人の意志の中に潜んでいます。この自分自身の心の中にある、何かへのきざしのようなものに気づいてください。必ず好きなもの、好きな道が見えてくるはずです。それを種として、國學院大學文学部の5つの学科で是非とも育てていってください。卒業の時には立派な果実として社会の中で評価されるものになるはずです。

文学部長 石川則夫

……上手なれ。

Q 1

古事記に関心があります。古事記やその時代について学びたいと思うのですが、どのようなことを学べますか？

■日本文学科の回答

P 5

『古事記』は日本文学の原点と言える作品です。『古事記』に記された神話・物語の中には多くの神や人が登場し、その生と死、恋と戦いなどが表現豊かに描かれています。そこには神や人の美しさ、はかなさ、ずるさ、醜さ、愚かさを見て取ることが出来ます。他の分野では、『古事記』は古代の歴史や民俗、信仰を知るための史料として読まれることがあります。日本文学科では、『古事記』という文学作品そのものが研究対象となります。そこに描かれた悲喜劇を読解し、その後の文学に与えた影響を、表記史、表現史の中に位置付けながら考えていきます。そして、まだ十分に解明されていない『古事記』の世界観についての検討を行っています。

■史学科の回答

P 23

史学科の専門科目には『古事記』そのものをテーマにした授業はありません。古事記は現存する日本最古の歴史書と言われますが、上巻・中巻の内容は神話的伝承です。国の始まりや天皇家の由来などたいへん重要な内容が書かれていますが、登場人物の実在性を含めて史実と考えることはできません。ですから、古事記それ自体を根拠史料として歴史の研究はできないわけです。しかし、下巻に記述された5世紀から6世紀頃の倭は古墳時代にあたり、古代国家が形成されていくプロセスを考古学的に研究することは可能です。『考古学各論』V～Ⅷなどの授業で、古墳時代の倭の政治や文化を考古遺物や遺跡から実証的に学ぶことができます。

Q 2

ギリシア神話に関心があります。ギリシア神話について学びたいと思うのですが、どのようなことを学べますか？

■史学科の回答

P 23

ギリシア神話は古事記のようなまとまった原典はありません。ホメロスの『イリアス』『オデュッセイア』をはじめとしたさまざまな作品に言及されているさまざまな物語の集合体がギリシア神話であり、世に言うギリシア神話は著者が自らの解釈でまとめたものに過ぎません。したがって、史学科においてギリシア神話、あるいは神話を直接の対象として勉強することはできないでしょう。しかしギリシア宗教を勉強する一環として神話を題材にすることは可能と思われます。その場合は、神話がポリスの政治や社会あるいは生活にどのように取り入れられ、働きかけたのかといった観点から神話を扱うことになるでしょう。

■哲学科の回答

P 29

ギリシア神話について、哲学科では多様な視点から幅広く学ぶことができます。まず哲学・倫理学コースでは、例えば神話の死生観、神話から哲学への展開、プラトン対話篇に神話が描かれたのは何故かなど、古代ギリシア哲学研究の一環としての様々なアプローチが可能です。また神話学を、ユング心理学やリクール解釈学など、現代哲学の観点から研究するのも面白いかもしれません。さらに、美学・芸術学コースでは、ギリシア神話を描いた西洋絵画を読み解き、その図像学的伝統を辿ることで画家の表現の深層に迫ることができ、大変興味深いです。どちらのコースに所属しても、テーマは横断的ですし、両コースの関連授業を受講することをお勧めします。

Q 3

中国語や中国の文化に関心があります。中国語や中国の文化について学びたいと思うのですが、どのようなことを学べますか？

■中国文学科の回答

P 11

中国文学科では、中国語の学習とあわせて、中国古典を漢文訓読によって読み、古代から現代に至る中国の学術の総合的な理解を目指します。

中国語については、学科の専門「演習」科目として、基礎からじっくりと学び、実力を錬成します。また、大学の制度として、3種類の中国語圏での留学制度がありますが、中国文学科では留学参加を強く勧めています。特に「 Semester留学」(約4か月間の現地学習)については、中国文学科独自に、カリキュラムの中に位置づけており(2年次参加が標準。中国語教養プログラム選択者は必修、他プログラム選択者は任意)、毎年多数の参加者があります。多くの先輩が積極的に学んで実力をつけ、卒業しています。

■外国語文化学科の回答

P 17

外国語文化学科で中国語を学ぶ利点は「中国語と英語を同時に学べる」という点です。2言語をマスターすれば就職にも圧倒的に有利です。毎年、多くの卒業生が外国語力を生かして就職しています。

1～2年次には、ネイティブと留学経験のある日本人教員のもとで、会話を主体にした実践的な中国語を基礎から学びます。3年次には、現地のテレビ・映画・新聞の中国語にチャレンジするほか、視野を広げて中国の社会・文化・歴史・伝統についても学びます。文法や単語の習得にも力を入れ、中国語検定2級程度の中国語力を目指します。希望すれば中国・台湾への短期留学・ Semester留学、さらには1年間の長期留学を目指す学生も少なくありません。

日本文学科



明治15（1882）年に創立された皇典講究所の伝統を踏まえ、古代から現在に至る日本の文学・言語・風俗習慣・儀礼などの研究を通して、日本文化を総合的・体系的に捉えつつ、今を生きる私たちの創造の指針となることを目指します。2年次には「日本文学」「日本語学」「伝承文学」のいずれかの専攻に分かれます。

入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

文学部日本文学科では、以下のような学生を受け入れます。

- 日本の文学・言語・文化を研究したいという意欲を持ち、古典語を含む日本語と日本文化の基礎的な学力を備えている者。
- 自ら問題を発見し、資料を収集・整理・分析して自分の考えをまとめ、文章で表現できる能力と姿勢を身につける意欲を持つ者。
- 日本の文学・言語・文化の研究を通して新たな文化創造に参画し、社会に積極的に働きかけ貢献できる者。

上記の方針に基づき、以下の観点で入学希望者を審査します。

- [AP1]** 国語（古文・漢文を含む）を中心に、日本文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。
- [AP2]** 自らの知識・技能に基づいて問題を発見し、物事を論理的・客観的に考え整理・分析する力と、それを自らの言葉で表現する能力があるか。
- [AP3]** 日本の文学・言語・文化の学修・研究に強い意欲を持ち、将来において社会に発信する主体となるために、積極的に学ぶ姿勢があるか。

また、入学までに「古典A」「古典B」「現代文A」「現代文B」およびそれに相当する教科を履修していることが望まれます。

入学者選抜制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		教科に関する試験で大学での学びに対応しうる学力を有しているかを確かめます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		
公募制自己推薦（AO型）	レポート			○	レポートで本学科への志向性を、筆記試験で大学の学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
	筆記試験	◎	◎		
	面接試験	○		○	
系列三高校推薦	調査書	◎		○	調査書とJeP学びのデータに基づいて、大学での学びに対応しうる学力を備えているか、進学への意欲があるかを確かめます。
	JeP学びのデータ			○	
	筆記試験	○			
	面接試験	○		◎	
協定校推薦	調査書・志望理由書等	○			レポートで大学の講義を理解する能力を備えているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	レポート		○		
	面接試験	○		○	
指定校制推薦	筆記試験	○			筆記試験で大学での学びに対応しうる学力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
	面接試験	○		◎	
スポーツ推薦	調査書・志望理由書等	○			本学科での学修に関心があり、運動競技において活躍が期待される者を受け入れます。
	小論文		○		
	面接試験			○	
院友子弟等特別選考	志望理由書			○	志望理由書で本学科への志向性を、レポートで大学の講義を理解する能力を備えているかを、筆記試験で大学の学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
	レポート		◎		
	筆記試験	◎	◎		
	面接試験	○		○	
社会人特別選考	筆記試験	◎	◎		筆記試験で大学での学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
	面接試験	○		○	
学士・一般編入学	専門科目学力試験	◎			専門科目学力試験で日本文学科での学びに対応しうる学力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
	面接試験	○		○	
外国人留学生	日本語小論文	◎	○		日本語小論文で日本文学科での学びに対応しうる学力および日本語運用能力を有しているかを、面接試験で進学への意欲があるかを確かめます。
	面接試験	○		◎	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 日本の文学・言語・文化を深く学ぶ

日本文学科では、1年次には3専攻の基礎を幅広く学び、2年次からは専攻に分かれて専門を深める学びを行います。

▶日本文学専攻

上代の『古事記』や『万葉集』、中古の『源氏物語』や『枕草子』、中世の『平家物語』や『徒然草』、近世の『奥の細道』や『東海道中膝栗毛』、そして近現代の夏目漱石や太宰治といった、日本文学のさまざまな作品や作家を研究の対象とします。学生一人ひとりの興味・関心に合った深い探究ができます。

▶日本語学専攻

古代から現代に至る発音・文字・表記・文法・語彙・表現など、言語としての日本語をあらゆる角度から学びます。『源氏物語』などの古典の文献資料から、現代の話し言葉やビジネス現場で使われる言葉、各地でのフィールドワークで明らかとなる方言まで、分析する資料は多岐にわたります。国語教育や日本語教育に関する講義が充実している点も特長です。

▶伝承文学専攻

声によって伝えられてきた昔話や伝説、行為によって伝えられた祭礼や年中行事、形によって伝えられた民具など、文字によって追うことができない文芸や儀礼・風俗といった日本の民俗文化を扱い、その本質を理解することを目指します。各地の民俗文化の実態を明らかにし、地方と中央、過去と未来を繋ぐ文化の動きをとらえ、日本文化に対する理解を深めます。

上記3専攻以外に「書道」「図書館学」「国語教育」も日本文学科の大きな柱となっています。3専攻のいずれに属していても学修することができます。

日本文学科へようこそ 國學院ならではの「学び」の世界へ

①國學院の「國學」ってなに？

「国学」というのは、日本語・日本文化・日本思想について幅広く総合的に研究する学問のことで、江戸時代に始まったものです。日本古来の生活習慣や考え方などを知るためには、その資料として古典文学を正確に読まなければなりません。日本文学科の「三つの学び」は、どれも国学の伝統につらなるものです。日本文学・日本語学・伝承文学の三つが一つになることで、国学の伝統を正しく受け継ぐことができるのです。

②どうして古文を読まなくちゃいけないの？

日本という国には、千年以上も昔からの文書や書物が数多く残っています。日本について深く知ろうとすれば、やはり残されている資料に書かれていることをていねいに読んでいくことが大切になってきます。その資料の多くは古文で書かれています。日本文学科では、資料の種類や性格を知り、そこで使われていることばについて深く考えることで、より豊かな「書物の読み方」を学んでゆきます。

③なぜ「伝承文学」の専攻があるの？

國學院の特色ある学問に「民俗学」があります。伝承文学専攻は、民俗学を専門的に学ぶコースです。民俗学は、衣食住などの生活習慣や、祭りや行事、昔話や迷信・妖怪など、それまで他の学問が見落としていた領域を研究対象としています。古典文学や日本語の研究でも、民俗学の資料や考え方を取り入れることによって、それまでわからなかった謎が解けることがあります。日本文学科では、國學院でしか学ぶことができない民俗学と日本語学・日本文学の複合した領域を学ぶことができます。

④ 日本文学科で学んだことを将来に生かすには？

日本文学科の卒業生は、社会の各方面で活躍しています。金融や流通などの業界に就職する人も少なくありません。しかし、國學院の名を高めてきたのは、国語の教員となった卒業生の活躍によるところが大きいです。國學院で学んだ国語教員は、専門的な知識の深さと正確さで尊敬を集めてきました。日本文学科では「書道」の教員免許状や日本語教師の資格も取得できるので、卒業生は活躍の場を広げています。また、文学や書物に関わる仕事を希望する学生も多く、「図書館学」を履修して図書館司書となった卒業生や、「表現文化プログラム」を履修して出版業界や放送業界に就職した卒業生もいます。

授業紹介

日本文学概説 I・II

1年次に開かれるこの講座は、日本文学科での基礎的な学修内容が中心です。本学の伝統的学究に触れながら、各時代の日本文学の特徴を広く捉えていきます。日本人の〈こころ〉に自分の手で触れ、具体的に自分の〈ことば〉で表現する。これらを通じて自分の学びを見つけていきます。

日本文学演習 I

受講者が一人ずつ『おくのほそ道』の章段にあたり、担当者が一人ずつ発表するという形式をとります。この個人発表という形式は、グループ発表と異なり、一人で研究を進めるので、打ち合わせの手間もかからない分、作業を気楽に進められます。しかしその一方で、全ての責任が自分にかかってくるので、意欲を持って臨まなければ、発表としての体裁を整えることすら難しいでしょう。

しかし、苦労に見合った分の達成感と成果が、発表を終えた後に残るのも確かです。『おくのほそ道』に限らず、あらゆるテキストは奥が深く、情熱を注げば注ぐほどさまざまな姿を見せてくれるものです。おそらくはそれが、一生ものの値打ちを持つことでしょう。

学習指導と学校図書館

学校図書館司書教諭課程の科目です。欧米で考案された学習モデルに基づいて学校図書館の資料やインターネットの情報を活用する授業の形態を考察します。ブレインストーミングなどのアクティブな学習方法を取り入れて、ワークショップ形式で講義と演習を展開します。

日本語学演習 II

源氏物語（今年度は玉鬘の巻）をテキストとした演習です。今日に伝わる源氏物語の本文は、主に平仮名（非表意文字）で書かれ、濁点も句読点もかぎかつとも施されていません。演習参加者は分担して、それに漢字（表意文字）をあて各種の符号を施して校訂本文を作成し、現代語訳を付けます。それに、その過程で疑問を持ったことや関心を持ったことについて調べ、考察を加えて、資料として整え、コピーして配布します。その発表に基づいて演習を行います。

伝承文学研究 II B

今はマンガやアニメで人気の「妖怪」。しかし妖怪はかつては真剣な恐怖の対象でした。この変化はなぜ、どうして起きたのでしょうか。民俗学の方法を用いて、妖怪観の変化と日本文化について考えていく講義です。



書道実習 I～IV

実習 I～III を通して、楷書・行書・草書・隷書・篆書（篆刻を含む）の漢字の五書体と仮名を、偏りなく学びます。歴代の名品の臨書を中心に、筆写力を養います。実習 IV では、漢字仮名交じりの書や発展的な作品制作に取り組みます。



専任教員

【日本文学専攻】

- 石川剛夫 教授
近現代文学／特に大正～昭和の小説・評論
- 井上明芳 教授
近現代文学／昭和期の文学を中心に研究
- 谷口雅博 教授
上代文学／『古事記』・『風土記』
- 土佐秀里 教授
上代文学／『万葉集』を中心とした上代文学の研究
- 野中哲照 教授
中世文学／軍記物語の研究
- 針本正行 教授
中古文学／『源氏物語』を中心とした平安女流文学の研究
- 山岡敬和 教授
中世文学／説話、物語、随筆をどう読み解くかというテーマで研究
- 山田利博 教授
中古文学／物語および映像作品の研究
- 中村正明 准教授
近世・近代文学／近世・近代前期戯作

【日本語学専攻】

- 小田 勝 教授
日本語学／中古文法
 - 菊地康人 教授
言語学・日本語学・日本語教育／日本語文法と日本語教育
 - 三井はるみ 教授
日本語学／方言学
 - 諸星美智直 教授
日本語教育学／日本語教育史・近代日本語学
 - 吉田永弘 教授
日本語史／中古・中世を中心とした語法・語彙の研究
- 【伝承文学専攻】
- 大石泰夫 教授
民俗芸能／万葉民俗学
 - 小川直之 教授
日本民俗学／民俗文化の歴史性と比較民俗学／折口信夫研究
 - 花部英雄 教授
口承文芸研究／昔話、伝説の民俗学的研究

■ 飯倉義之 准教授

口承文芸研究／都市伝説・世間話研究

■ 服部比呂美 准教授

日本民俗学／子どもの民俗文化

【書道】

■ 橋本貴朗 准教授

書道／日本書道史・古筆学

■ 野村ひかり 准教授

書道／中国書道史

【図書館学】

■ 須永和之 教授

図書館情報学・学校図書館論／図書館行政と学校図書館の国際的比較

■ 新藤 透 教授

図書館情報学／日本図書館史

【教職課程】

■ 高橋大助 教授

国語教育学／文学教育論

■ 齋藤智哉 教授

教育方法学

■ 高山実佐 教授

国語教育

専門教育科目構成 [令和2年度参考]

○数字：単位数

		1年次	2年次	3年次	4年次	
学科基幹科目	学科基礎科目	日本文学概説Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学概説Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学概説Ⅰ②・Ⅱ② 漢文学概説②				
	専攻基礎科目		日本文学講読Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学講読Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学講読Ⅰ②・Ⅱ② 漢文学講読Ⅰ②・Ⅱ②			
	専門基礎科目	基礎日本古典文学④(Ⅰ類) 基礎日本古典語④(Ⅱ類) 書道④(Ⅳ類) 影印講読② 基礎漢文学②	伝承文学基礎研究法④(Ⅲ類)			
	専攻演習科目		日本文学演習Ⅰ④ 日本語学演習Ⅰ④ 伝承文学演習Ⅰ④	日本文学演習Ⅱ④・Ⅲ④ 日本語学演習Ⅱ④・Ⅲ④ 伝承文学演習Ⅱ④・Ⅲ④・Ⅳ④		
	専攻外演習科目		表現文化演習Ⅰ④	日本語教育学演習Ⅰ④・Ⅱ④ 言語学演習④ 表現文化演習Ⅱ④・Ⅲ④		
	展開科目	日本文学科目群 選択Ⅰ類		日本文学史Ⅰ②・Ⅱ② 日本古典文学研究ⅠA②・ⅠB② 日本古典文学研究ⅡA②・ⅡB② 日本近現代文学研究ⅠA②・ⅠB②	芸能文化論ⅠA②・ⅠB② 芸能文化論ⅡA②・ⅡB② 日本文学各論Ⅰ②・Ⅱ② 東アジア比較文学Ⅰ②・Ⅱ② 文献情報処理Ⅰ②・Ⅱ②	
日本語学科目群 選択Ⅱ類			日本語史Ⅰ②・Ⅱ②	日本語学史Ⅰ②・Ⅱ② 言語学概論Ⅰ②・Ⅱ② 日本語音声学Ⅰ②・Ⅱ② 古代日本語文法Ⅰ②・Ⅱ② 現代日本語文法Ⅰ②・Ⅱ② 現代日本語研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学各論Ⅰ②・Ⅱ② 言語学特殊講義Ⅰ②・Ⅱ② 日本語教授法Ⅰ②・Ⅱ② 日本語教育研究Ⅰ②・Ⅱ②		
伝承文学科目群 選択Ⅲ類			民俗学史Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学研究ⅠA②・ⅠB② 伝承文学研究ⅡA②・ⅡB②	伝承文学史Ⅰ②・Ⅱ② 日本民俗学Ⅰ②・Ⅱ② 口承文芸研究Ⅰ②・Ⅱ② 儀礼文化論Ⅰ②・Ⅱ② 比較民俗研究Ⅰ②・Ⅱ②	伝承文学思想② 現代文化論② 民俗文化財論Ⅰ②・Ⅱ② 比較口承文芸論Ⅰ②・Ⅱ②	民俗研究思想② 映像文化論② 民俗芸能論Ⅰ②・Ⅱ②
表現文化書道関連科目群 選択Ⅳ類			書道実習Ⅰ② 表現文化論ⅠA②・ⅠB②	日本書道史Ⅰ②・Ⅱ② 中国書道史Ⅰ②・Ⅱ② 書道概論② マスコミュニケーション論ⅠA②・ⅠB②・ⅡA②・ⅡB②	書道実習Ⅲ② 書論研究②	
関連科目		史学情報処理初級② 中国学入門②	中国文学通史②	史料講読④ 中国原典研究Ⅰ②	表現文化論ⅡA②・ⅡB② 古筆学② 篆書法篆刻学② 隸書法② 古典教育研究Ⅰ②・Ⅱ② 書道実習Ⅱ②・Ⅳ② 表現文化論ⅢA②・ⅢB②	
演習・卒業論文				演習・卒業論文⑧		

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。



日本文学科
土佐 秀里教授

日本文学科3年
佐藤 彩葉さん

日本文学科3年
穂積 朱莉さん

対談

古典の読み方は 十人十色でいい

※学年は取材時(令和2年)のもの

土佐 本学で教えていた折口信夫先生は、古典研究もやり、民俗学もやり、国語学もやり、歌人でもありました。学際的研究の先駆者であったわけです。日本文学科には物事を多面的に捉えるという折口先生の教えが、いい形で伝わり、根付いています。まず古典をじっくり丁寧に読むことが基本ですけど、色々な捉え方をして構わないのです。

穂積 私は高校生のときに始めた百人一首の競技かるたをきっかけに古典に興味を持つようになりました。百首が選ばれた理由を知りたくなり、万葉集の世界に入り込んだ格好です。それまで万葉集とか言えば周囲は大抵引いていましたけど、現在は「ああ、あの歌ね」と返ってきます。日常の学びの環境は大違いです。

佐藤 今、もっとも妙味があるのは万葉集に出てくる色についてです。万葉の歌人は、赤とか黒とか特定の色の名を、どういう意図をもって用いたのか、何を表現したかったのか、それを探ることで万葉びとの色彩感に迫りたいのです。

土佐 古典の研究は、それぞれがもつ素朴な疑問を解明したいという真摯な取り組みでさえあれば、一定の型にはめる必要はないというのが私の考えです。筋が通ってさえいれば、どんなテーマでもかまわないのです。一方でそれは多様な知識をもって研究に臨まなければならないことを意味します。

穂積 先生が話されたように確かに研究の自由度は高いですね。そこで上代の人々の山に対する思いにも興味を持ち始めました。持統天皇は「天の香具山」と詠んでいますが、なぜ香具山なのだろうか…、総じて言えることは今も昔も人の考え方はあまり変わらないということです。1000年以上も前の話なのに、遠い過去の別世界という感じがしません。

佐藤 万葉集の色彩の研究を通じて思うのは、上代の文化と現

代の文化を融合して新たな価値を創出できないかということです。万葉びとの感性を日本らしさのキャッチコピーに生かすのも面白いかもしれません。こんな突飛なことを言い出しても学科の仲間は真剣に受け止めてくれます。

土佐 穂積さんにしても、佐藤さんにしても、万葉集に面白く、共感できるものがあると感じているわけです。文学は読む人がいなくなると消えてなくなります。本学の使命の一つは古典および日本文化を守っていくことです。ですから今後も、こうした探求心を大事にし、サポートしていきたいと考えます。

●日本文学科を漢字一文字で表すと…



古

古いものに新しい価値を与える学科だから



白

言葉はやろうと思えば何でもできるし、白から何色にも染めることができるから

彩

同じ学科であっても興味の対象が違い、解釈も違う人が集う十人十色の世界だから



中国文学科



中国の古典から近現代文学まで、中国文学を広く学びながら、世界に通じる広い視野と豊かな人間性を育成することを目指しています。中国古典と現代中国語を柱とし、2年次には、興味に応じて「文学研究」「中国語教養」「中国民俗文化」「人文総合」の4プログラムから一つを選択します。

入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

文学部中国文学科では、以下のような学生を受け入れます。

- 中国古典の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 中国近現代文学の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 中国語の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 中国文化の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 教職を目指しての専門分野の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。

上記の方針に基づき、以下の観点で入学希望者を審査します。

【AP1】 国語（古文・漢文を含む）を中心に、中国文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。

【AP2】 知識・技能に基づいて、論理的に考え、自主的に判断し、それを正確に表現する能力を持っているか。

【AP3】 中国の文学や文化に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。

また、入学までに、「国語総合（古文・漢文を含む）」で古文・漢文の基礎をしっかりと身につけ、「世界史A」または「世界史B」では、特に中国の歴史・文化とわが国との関係について、十分な知識を身につけていることが望まれます。

入学者選抜制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		本学科の学修に必要な国語（古文・漢文を含む）等の学力を十分に持つ者を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		
公募制自己推薦（AO型）	志望理由書等（社会人は履歴書をもって代える）		○	◎	中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある者を受け入れます。
	活動レポート	○	○	○	
	授業レポート	○	◎		
系列三高校推薦	面接試験	○	○	◎	中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に積極的に関わろうとする意欲のある者を、本学系列三高等学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	調査書	◎			
	JeP学びのデータ	○	○	○	
協定校推薦	調査書・志望理由書等	○			中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある者を、本学から依頼した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	レポート		○		
	面接試験			○	
指定校制推薦	調査書・志望理由書等	◎			中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある者を、本学から依頼した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	レポート	○	◎		
	面接試験	○	○	◎	
スポーツ推薦	調査書・志望理由書等	○			中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲があり、かつ運動競技において活躍が期待される者を受け入れます。
	活動レポート	○	○	○	
	小論文		○		
	面接試験			○	
院友子弟等特別選考	志望理由書		○	◎	中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲のある院友の子弟等を受け入れます。
	活動レポート	○	○	○	
	レポート	○	◎		
	授業レポート	○	◎		
	面接試験	○	○	◎	
学士・一般編入学	専門科目	○	◎		学士または編入学の資格を有し、中国の文学や文化への強い興味・関心及び基礎知識を持つ者を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 中国古典と現代中国語／興味に応じて選べる四つのプログラム

中国古典の学修と現代中国語の習得を大きな柱にしています。

- 古典は普遍的な価値を持ち、現代のさまざまな問題にも主体的に取り組める力になります。
- 現代中国語については、学修とあわせて留学を推奨しています。実際に現地で得られる体験を大切に考え、約4か月間のセメスター留学（選択制）をカリキュラムに組み込んでいます。

四つのプログラムから、自分の興味に応じて選べます。

1年次に基礎を学び、2年次はじめに下記より一つを選択して学びを深めます。

- ▶ 文学研究プログラム ～文学の深い探究～
- ▶ 中国語教養プログラム ～中国語を存分に～ ※セメスター留学必修
- ▶ 中国民俗文化プログラム ～中国の人と生活を知る～
- ▶ 人文総合プログラム ～幅広い中国理解～

詳しくは別冊の中国文学科ガイドブックをご覧ください。

中国文学科の四年間

時 期	主な学修項目
一年前期 (第1セメスター)	「中国学入門」で中国学の枠組みを知り、古典読解と中国語の基礎を学びます。学修姿勢を確立する時期です。
一年後期 (第2セメスター)	4プログラムの導入的内容をそれぞれの「概説」の授業で学び、2年次はじめのプログラム選択につなげます。
二年前期 (第3セメスター)	古典読解・中国語の運用能力をここまで固め、今後の発展的学修や留学に求められる基礎力を身につけます。
二年後期 (第4セメスター)	二年前・後期で、各プログラムの「基礎」科目を学びます。セメスター留学選択者は、この時期に留学します。
三年 (第5・6セメスター)	三・四年次は応用・発展・総合的学修が主となります。卒業論文を選択した場合は、二年をかけて制作します。
四年 (第7・8セメスター)	大学での学びを集大成する期間です。卒業論文や演習科目を中心に、これまでの成果を総合し、完成させます。

卒業論文と卒業論文発表会

大学での学びの成果といえば卒業論文、という印象は、今も強いでしょう。卒業論文は選択制ですが、学科ではぜひ取り組んでほしいと思っています。

卒業論文を選択すると、まず「卒業論文Ⅰ」（第5セメスター）で必要な調査を行いながらテーマを決定し、「卒業論文Ⅱ」で卒業までの三セメスターをかけて、教員の指導を受けながら論文を制作します。

また、完成後には、「卒業論文発表会」を行います。優秀論文数本の要旨が発表され、四年生だけでなく、これから選択する一～三年生も参加して熱心に耳を傾け、質疑応答も行われます。最優秀論文には、國學院大學中國學會より「中國學會奨励賞」が贈られ、表彰されます。



就職フォーラム

卒業後、どんな職に就くか。就職は在学中の大きな関心事でしょう。本学科では、毎年12～1月ごろに「中国文学科学生対象就職フォーラム」を実施しています。実際の企業の方からアドバイスをいただいたり、内定を受けた四年生に、一般企業・公務員・教員の部門別に、心かけや体験談を話してもらったりします。三年生を中心に参加者も多く、質疑応答も活発に行われて、今後の自分の活動・取り組み方の参考になっています。

授業紹介

中国古典読法 I

中国文学科では、中国古典の読解・中国語運用能力の向上・漢字情報処理技術の向上の3項目を学修の柱にしています。このうち、中国古典については、漢文訓読を用いて読解を行います。「中国古典読法」は、訓読の知識と技術を養成する科目です。1年前期～2年前期（第1～3セメスター）に「I」「II」「III」（いずれも必修）、また、初学者用に「基礎」（1年前期、選択）の4科目を設けて、古典文の基本構造や句法、訓読に必要な古語文法、内容の読解法などについて、段階的に学びます。「中国古典読法 I」では、例文や短い文章の読解を通じて、漢語の構造や重要な句法・知識を学び、習熟に努めます。辞書を引き繰り返し音読して内容を自分のものにし、積み重ねていく姿勢が大切です。

中国語演習 I

1年次前期に習得した中国語文法の基礎内容を再確認するとともに、簡単な文章を読むことで、第一段階の読解力の養成を目指す演習です。テキストの朗読も行い、発音の間違いを随時に指導します。使用する教科書は、現代中国の生活を題材に取った内容です。



テキストの朗読も行い、発音の間違いを随時に指導します。使用する教科書は、現代中国の生活を題材に取った内容です。

楚辞演習

楚辞は中国文学の祖とされる古典です。激越な感情とロマンチックな想像に満ちた内容で、演習では受講者の解釈を一字一字検討しつつ進めます。調べるからこそ考えられるという、古典を「読む」本質を考える演習です。



卒業論文 I

卒業論文は、自分でテーマを見つけ、長い時間をかけて調査し、考察して執筆します。テーマの設定・資料の収集と分析・主張の形成と発信——研究の手順に従い、自らの力で進める卒業論文制作は、大学での学修の集大成といえます。そこで中国文学科では学生に卒業論文の選択を強く勧めています。「卒業論文 I」の授業内容は、なぜ卒業論文を書き、そしてなにを書くのか、その動機付けとテーマ設定を柱とします。5月に「卒業論文 II」担当教員全員が授業の中でプレゼンテーションを行います。6月には受講生ひとり一人が自分の関心に基づき、教員と面談をして、7月に題目（第1次題目）を決定します。ここまでの指導を行います。

中国民俗文化概説

「中国民俗文化プログラム」の導入となる科目です。中国古典小説中の、神や仙人、幽霊、妖怪などが登場する不思議な話を取り上げ、現代中国の民俗事象と関連させながら読んでいきます。これによって、中国民俗文化への理解を深めていきます。



漢字情報処理 I・II

「漢字情報処理技術の向上」のための科目として、2年次に「I」、3年次に「II」を設けています。「I」では、中国文学・漢字文化圏の学芸を学ぶ際に有用なコンピュータ技術と情報処理能力を身につけ、漢字文献の入力並びに情報の活用、書式の整ったレポート作成技術を修得します。また、3年次の「II」では、レポートや卒業論文の作成に有効な、情報の高度な検索（電子情報だけでなく、図書館の徹底活用も含む）や加工に関する技能を中心に講義・演習します。中国文学科の様々な専門分野の知識を総動員して探し求めねばならない「お題」を課題として与え、自身の専攻以外の内容にも幅広く触れ、知見を広げるとともに、各種の「工具書」に実際に触れ、活用できるようにします。

専任教員

赤井益久 教授

中国古典文学／唐代文学の研究

浅野春二 教授

中国宗教文化／道教の儀礼と民間信仰の研究

石本道明 教授

中国古典文学／宋代文学の研究

宮内克浩 教授

中国古典文学／漢代辞賦文学の研究

青木洋司 准教授

中国思想／『尚書』解釈研究

吳 鴻春 准教授

中国語／中国語教養

長谷川清貴 准教授

中国思想／漢代思想の研究

牧野格子 准教授

中国近現代文学／謝冰心文学の研究

専門教育科目構成 [令和2年度参考]

○数字：単位数

		1年次	2年次	3年次	4年次	
学修基礎科目	学修基礎科目	中国古典読法基礎② 中国古典読法Ⅰ②・Ⅱ②	中国古典読法Ⅲ②			
	学科基礎科目	中国学入門② 中国文学概説② 中国語基礎演習② 中国語演習Ⅰ① 唐宋詩文演習②	中国文学通史② 中国語演習Ⅱ① 漢字情報処理Ⅰ② 詩経演習② 論語演習②	漢字情報処理Ⅱ② 楚辞演習② 文選演習②		
	学科 応用科目	研究・演習			中国原典研究Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ② 中国原典演習Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②	
		卒業論文			卒業論文Ⅰ② 卒業論文Ⅱ⑥	
プログラム 専修科目	導入科目	中国人文学概説② 中国民俗文化概説② 現代中国概説②				
	プログラム 基礎科目	文学研究		中国文学基礎Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②		
		中国語教養		中国語教養基礎Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②		
		中国民俗文化		中国民俗文化基礎Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②		
		人文総合		人文総合基礎Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②		
	プログラム 応用科目	文学研究			中国文学特殊講義A②・B② 中国学特殊講義Ⅰ～Ⅳ(各②) 中国学特殊講義Ⅴ～Ⅸ(各②)	
		中国語教養			中国語教養特殊講義A②・B② 中国学特殊講義Ⅰ～Ⅳ(各②) 中国学特殊講義Ⅴ～Ⅸ(各②)	
		中国民俗文化	日本文学概論Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学概論Ⅰ②・Ⅱ②		中国民俗文化特殊講義A②・B② 中国学特殊講義Ⅰ～Ⅳ(各②) 中国学特殊講義Ⅴ～Ⅸ(各②)	
		人文総合			人文総合特殊講義A②・B② 中国学特殊講義Ⅰ～Ⅳ(各②) 中国学特殊講義Ⅴ～Ⅸ(各②)	
		関連科目		日本文学講読Ⅰ②・Ⅱ② 日本文学史Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学講読Ⅰ②・Ⅱ② 日本語史Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学講読Ⅰ②・Ⅱ② 書道実習Ⅰ②	書道実習Ⅲ② 古典教育研究Ⅰ②・Ⅱ②	
	書道④			書道実習Ⅱ②・Ⅳ②		

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

中国文学科
長谷川 清貴准教授

対談

中国古典に挑んで得る
多様な人生訓中国文学科4年
田中 あんじさん

※学年は取材時(令和2年)のもの

長谷川 中国文学科では、中国古典の読解について、翻訳ではなく訓読によって原典を直接読み、内容に迫るという教え方をしています。ですから、まず古典文の語彙や文法、訓読のルールを学ぶ必要がある。さらに、表現や意味はわかっても、現代流の発想で解釈しようとするとしばしば「ずれ」が生じるので、当時の文化や社会的背景についても知らなければならない。単に「読む」といっても、きちんと理解するには複合的・総合的なアプローチが求められるわけです。学生諸君は日々苦勞して励んでいます。積み重ねによって徐々に、あるいは突然「見える」ようになる。こうして得られたものは大きいはずですよ。

田中 確かに、原文に並ぶ漢字一つをとっても色々な意味があり、調べるだけでなく、どう解釈するか深く考えなければいけません。私は中国古代の思想を専門的に学びましたが、この古典読解の経験を通じて、どういう問題を投げかけられたとしても、解答にたどり着くための手法を習得できた気がします。卒論では、後漢時代の思想家王充が著した『論衡』の中の「九虚三増」という項目について考察し、まとめました。

長谷川 当時、儒教の世界で真実と見なされていたことが、いかに偽りのイメージ(虚)で形作られ、誇張(増)にまみれているかを、王充が鋭く突いたのが「九虚三増」。それがどういう視点から出てきたかを研究したのが田中さんの論文でしたね。

田中 日本人は宗教の経典で学ぶことがあまりなく、例えば母親に読み聞かせてもらった昔話や本、そして多様な経験を通じて、どう生きるべきかを体得していくのだと思います。昔の思想は、今に通じる教えにあふれています。卒論をまとめる過程でも、言語や思想を学ぶことをおろそかにしてはいけなくて改めて感じました。今春から高校の教員になりますが、このことを若い人たちに伝えていければいいなと思います。

長谷川 中国文学科の主要な進路の一つが教員です。ですから私たちは生徒への教え方のテクニックではなく、教壇に立ったときに本当に必要なものとは何か、それをどうすれば身に付けさせられるかを重視し、教員育成の指導をしています。これは教師になった後々に響いてくるものなのです。

田中 それは納得できますね。生徒に教えるうえで必要な知識の蓄え方、調べ方などの前段階部分のノウハウを、大学での演習を通じ習得できたように感じます。教育実習にも基礎的な部分をしっかり学んで臨んだので、自分なりに満足いくものでした。備えをきちんとすることの重要性を痛感します。

●中国文学科を漢字一文字で表すと…



敬

うやまうの意のほか、つつしむという意がある。つつしんで臨む対象は教材だけでなく師や友、教場にも及ぶ。「敬」の姿勢は在学中だけでなく、その後の人生にもつながるものでしょう



究

中国文学科の特徴として、調べ尽くすことが挙げられるため

外国語文化学科



言語を学ばなければ、文化を理解することはできません。また、文化を知らなければ、言語を使いこなすことはできません。言語と文化を総合的に学ぶことで、日本文化と外国文化の違いや共通点を理解し、異文化間の橋渡し役となるグローバルな視野を持った人間を育成します。

入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

文学部外国語文化学科では、以下のような学生を受け入れます。

- 英語および選択必修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語のうち一言語）を使えるようになりたいという意欲をもつ者。
- 英語、ドイツ語、フランス語、中国語を話す地域を中心に、世界各地の文化や習慣を知り、知識の幅を広げたいという意欲がある者。
- 日本と世界各地のさまざまな言語・文化を照らし合わせながら、グローバル社会における日本文化の発信にかかわろうとする意欲がある者。

上記の方針に基づき、以下の観点で入学希望者を審査します。

[AP1] 外国語、国語を中心に、外国語文化学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。

[AP2] 自分の知識・技能を適切に組み合わせて、論理的に考え、答えを導き出し、表現する能力をもっているか。

[AP3] 自発的に学び、多様な価値観をもつ人々と積極的に協力する姿勢があるか。

また、入学までに「コミュニケーション英語I, II, III」「英語表現I, II」「国語総合（現代文）」を身につけ、さらに「世界史B」「日本史B」「地理B」から一つ以上の教科を学んでおくことが望まれます。

以上に加えて、実用英語技能検定2級以上、TOEIC 500点以上を獲得できる英語能力をもつことが望まれます。

入学者選抜制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		外国語・外国文化を深く学ぶための総合的な学力を持つ者を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		
公募制自己推薦（AO型）	自己推薦書			◎	本学科に対する強い志向性を持つ者を重視します。その上で、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力を持つ者を受け入れます。
	活動レポート・添付資料・添付資料目録		○	◎	
	小論文（英語）	◎	○		
	小論文（日本語）	○	◎		
	面接試験	○	○	◎	
系列三高校推薦	調査書	◎		○	系列三高校の生徒で本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ者を受け入れます。
	JeP学びのデータ		○	◎	
協定校推薦	調査書・志望理由書等	○			本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ者を受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	レポート		○		
	面接試験			○	
指定校制推薦	レポート	○	◎		指定校の生徒で本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力を持つ者を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	
院友子弟等特別選考	志望理由書			◎	院友子弟で本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ者を受け入れます。
	レポート	○	◎		
	小論文（英語）	◎	○		
	小論文（日本語）	○	◎		
	面接試験	○	○	◎	
学士・一般編入学	専門科目	○	◎		本学科への学士入学または一般編入学を強く望み、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力を持つ者を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 二つのコースで理解を深める言語と文化

外国語文化学科では、言語と文化を一体のものとして捉えるカリキュラムを用意しています。必修として全員が英語を学ぶほか、入学時からドイツ語、フランス語、中国語のいずれか1言語を選択し、合わせて2言語を4年間学ぶことができます。同時に、英・独・仏・中国語圏の文化について知識を得ることで、主体的に異文化コミュニケーションに関わる力を養います。

言語に重心を置くか、文化に重心を置くかにより、2年次に二つのコースのいずれかを選択し、学修を深めます。

▶外国語コミュニケーションコース

世界中のさまざまな言語・文化的背景を持つ人々と、主体的にコミュニケーションできる能力を身につけることを目標とします。学生それぞれの興味・関心により、共通語としての英語を中心に学ぶこともできますし、選択外国語（ドイツ語・フランス語・中国語）を重点的に学ぶこともできます。実際に現場で使える外国語の修得を重視しています。

▶外国文化コース

言語と文化を一体として捉える視点から、外国語とその国の文化を同時に知り、偏見のないグローバルな視野と判断力を身につけることを目標とします。各地域の文学・芸術・社会、比較文化や文化交流について広く学ぶことで、さまざまな文化を知るとともに、自分自身や日本に関する理解を深め、国際社会において主体的に活躍する力を培います。



授業紹介

英語演習 I A・I B

英語の四技能に目を配りつつ、コミュニケーション能力の土台を築き上げるための授業です。正しい発音法の理解と実践、それに基づいた基礎的な会話演習、そして英語長文の要約文の作成など、多様なアクティビティを通じて自分なりの土台を構築していきましょう。



Select English I・II

上級者向けの、英語のみで行う授業です。特に留学帰りの学生や、既に高度な英語能力を身に付けている学生がさらに力を伸ばすことができます。Iでは神話、IIでは現代社会について講読・発表・議論します。



ドイツ語研究 I・II

初めて音声学・音韻論を学ぶ人でも理解できるように、音声や音韻に関わる身近な現象を取り上げ、映像資料や音響資料などで確認しながら授業を進めます。また、日本語とドイツ語の母音や子音、ストレスやイントネーション、音韻体系の違いなどを解説する他、音声分析ソフトを使って視覚的に自分の音声を観察し、自然で明瞭な標準ドイツ語の発音を身につける練習をします。日本語とドイツ語の音声の違いやそのメカニズムを知ることで、言語活動に欠かせない音声と音韻についての理解を深めていきます。

英語コミュニケーション演習 A・B

1・2年生で培った外国語コミュニケーション能力を土台として、プレゼンテーションやディベートなど、学生が主体となるアクティビティに取り組んでもらう授業です。ここでは瞬発力も大切ですが、自分の論点を明確にし、それを明らかな言葉（外国語）で表現するという語学的な編集力も重要になります。外国語でのコミュニケーションに必要なのは、言おうとすることを日本語で思い描いた後、それを一語一語直訳することではなく、言おうとすることの「意味/内容」を外国語に変換して伝えることであり、ここはそれを体感できる場だと言えるでしょう。他文化理解の鍵となる表現作法を学びながら、授業に「参加する」というより、授業を「創造する」主体となってください。

中国地域文化論 I・II

中国は、公式に認められただけでも56の民族が住む多民族国家であり、それぞれの民族の文化は想像を超える多様性を見せています。この授業では、中国南部の少数民族地域に住んだ経験のある講師が、これらの民族の歴史、言語、宗教、衣食住などについて、写真や映像を交えながら紹介します。講師が現地で調達してきたポップミュージックの映像には、おそらく他では見ることができないものも含まれています。現地の空気を感じてもらいながら、一面的になりがちな中国理解に一石を投じます。

文化総合演習 A・B

3・4年生が自分で設定したテーマについて、研究発表と討論を重ねます。また、国内外の社会や文化を理解するキーワードについて、教員がファシリテーターとなって全体で討論し、卒業論文につながる方法論を学びます。



専任教員

- 浅井理恵子 教授
アメリカ史／社会運動、ジェンダー史
- 岩瀬由佳 教授
比較文化学／インド・アラブ説話文学と関連文学の比較研究
- 黒澤直道 教授
中国語・中国の文化と民族／ナシ（納西）族の言語と文化
- 白井重範 教授
中国語、中国近現代文学／1930年代文学
- 高橋昌一郎 教授
論理学、英米哲学、認知科学／論理的思考方法、情報文化論、限界論

- 高屋景一 教授
教育哲学・思想史、カリキュラム論
- 新倉真矢子 教授
音声学、音韻論
- 野呂 健 教授
英語学、英米文化論／語用論、バイリンガル、レトリック
- 針谷壮一 教授
現代中国語学／北京の人と言語と文化
- 福井崇史 教授
19世紀末アメリカ文学研究、批評理論
- 山西治男 教授
アメリカ文学

- 笠間直穂子 准教授
近現代フランス語文学
- 上石田麗子 准教授
イギリス文学／モダニズム文学
- 穴戸節太郎 准教授
ドイツ現代文学・思想・文化
- 進藤久乃 准教授
20世紀フランス文学
- スピアーズスコット 准教授
日本中世文学／和歌文学
- 藤野敬介 准教授
英文学、カナダ文学、英国心靈主義、教育催眠

専門教育科目構成 [令和2年度参考]

○数字：単位数

		1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	導入科目	外国語文化導入演習②			
	外国語基礎演習	英語演習ⅠA②・ⅠB② 英語文献演習ⅠA②・ⅠB② ドイツ語演習ⅠA②・ⅠB② フランス語演習ⅠA②・ⅠB② 中国語演習ⅠA②・ⅠB②	英語演習ⅡA②・ⅡB② 英語文献演習ⅡA②・ⅡB② ドイツ語演習ⅡA②・ⅡB② フランス語演習ⅡA②・ⅡB② 中国語演習ⅡA②・ⅡB② 英語表現A②・B② ドイツ語表現A②・B② フランス語表現A②・B② 中国語表現A②・B②		
	文化基礎演習	英文法A②・B②	文化基礎演習A②・B②		
専門応用科目	外国語演習			英語コミュニケーション演習A②・B② ドイツ語コミュニケーション演習A②・B② フランス語コミュニケーション演習A②・B② 中国語コミュニケーション演習A②・B② 英語展開演習A②・B② ドイツ語展開演習A②・B② フランス語展開演習A②・B② 中国語展開演習A②・B②	
発展科目	選択Ⅰ類 (言語系)			英米語研究Ⅰ②・Ⅱ② ドイツ語研究Ⅰ②・Ⅱ② フランス語研究Ⅰ②・Ⅱ② 中国語研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学Ⅰ②・Ⅱ②	
	選択Ⅱ類 (文化系)		比較文化論Ⅰ②・Ⅱ② 英米地域文化論Ⅰ②・Ⅱ② ヨーロッパ地域文化論Ⅰ②・Ⅱ② 中国地域文化論Ⅰ②・Ⅱ②	ビジネス英語Ⅰ②・Ⅱ② Select EnglishⅠ②・Ⅱ②	
	演習・卒業論文			外国語総合演習A②・B② 文化総合演習A②・B② 卒業論文⑧	

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

対談

語学と文化を学び教養と知力高める

外国語文化学科
山西 治男教授

外国語文化学科4年
鵜澤 万実子さん

※学年は取材時(令和2年)のもの

山西 外国語文化学科の特徴の一つは、英語のほかにもう1言語を学ぶことです。ドイツ語、フランス語、中国語から選択し、場合によっては第2外国語の方を学びの中心に据えることもできます。それと、言語と文化と一緒に学ぶことも大きな特徴です。言語の背景にある文化も学ぶことで言語の理解がより深まるでしょう。

鵜澤 私は英国の大学に10カ月間ほど留学しましたが、手振り身振り一つ取っても日英の文化の違いによって、誤解が生じることがないとはいえません。グローバル化が一段と進むなかで、外国の文化も一緒に学ぶということは、国際交流を促進する観点からも重要なことだと思います。

山西 言語と文化の学びを通じ、人は生活習慣をはじめとして考え方、論理展開の仕方など多くの相違点を知ることになります。そして、それはなぜかと考えるでしょう。そこからコミュニケーションを深めるための妥協点や、人間関係を円滑にするための術を見いだせるのだと思います。この学びの過程で、教養を身に付けるためのきっかけを掴めれば、さらにいい結果につながるでしょう。英語ができるけど、成長性がみられないのは、経済や国際関係といった専門性の高い知識の不足が主な要因です。

鵜澤 確かにそうですね。ビジネス社会に出たら語学力だけでは通用しないのは明白です。私は第2外国語に中国語を選択し、それと、広告におけるジェンダー表現の国際比較をテーマに研究し、卒論にまとめました。日本と外国とでは表現の仕方に感覚的な違いがあり、自分なりに有意義な研究だったと思っています。國學院大学は教授陣が充実しているので興味を持ったテーマを突き詰めていける環境に優れています。これは学生にとって大きな武器になるでしょう。

山西 専門性の高い教養を身に付けようとしたら書籍も読まなくてはいけないし、論理的文章を読み書きする能力も求められます。大学生の場合、外国の言語を習得し、それにプラスしてどれだけ中身のある会話ができるかが問われることになるのです。ぜひ、これを目指して努力を重ねてほしいですね。

鵜澤 私が個人的に感じるのは、日本文化をごく自然と学ぶことの有難さです。例えば神道の必修科目では日本の成り立ちについても教えてくれます。これは外国人に日本のことを説明するときに役立ち、的確で正確な説明ができることにもなります。

●外国語文化学科を漢字一文字で表すと・・・

彩

多彩な言語と文化を学ぶことができるから



旅

先生方は異なる文化圏や国について研究しています。友人も海外に目を向けて勉強しており、海外を旅しているような4年間であったため

史学科



「日本史学」「外国史学」
「考古学」「地域文化と景観」
の4コースに加えて、一般企業や公務員としての就職を目指すSプログラム、大学院進学や教職・学芸員としての就職を目指すPプログラムの2プログラムを設定したカリキュラムを導入しています。多様かつ幅広い専門分野での実証的な歴史学と、学生自身のキャリアデザインに基づいた学びを実践しています。

入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

文学部史学科では、以下のような学生を受け入れます。

- 日本や世界の歴史に関心を持ち、さらに専門的な知識を学んで理解を深めたい者。
- 歴史資料の調査や研究方法を学び、歴史研究の発信や文化財の保護・活用にかかわりたいという意欲がある者。
- 歴史上の諸問題に関心を持ち、さまざまな価値観を持つ人々と協力しながら、新しい社会を創造していこうとする意志を持つ者。

上記の方針に基づき、以下の観点で入学希望者を審査します。

【AP1】 地理歴史、国語、英語を中心に、史学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。

【AP2】 物事を論理的・客観的に考える力があり、それらを自分の言葉で発信する能力があるか。

【AP3】 日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観（歴史地理）分野の学修・研究に強い関心を持ち、かつ主体的に学ぶ姿勢を備えているか。

また、入学までに、「日本史B」「世界史B」「地理B」から一つ以上を学んでおくことが望まれます。さらに、「国語総合（古文・漢文を含む）」「古典B」「コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「英語表現Ⅰ、Ⅱ」およびそれに相当する教科について、基礎学力を身につけておくことが望まれます。

入学者選抜制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		本学科での専門的学修に必要な日本史・世界史・地理に関する基礎知識、および歴史資料を理解し、学修の成果を発信するために必要な国語（古文・漢文）・英語などの言語能力を十分に備えた者を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		
公募制自己推薦（AO型）	志望理由書	○		◎	歴史・地理分野の研究に強い関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする意欲的な者を受け入れます。
	レポート		◎	○	
	活動レポート		○	◎	
	論述試験	○	◎		
	面接試験		○	◎	
系列三高校推薦	調査書	◎			建学の精神を理解し、高校での学修成績が優秀な者を受け入れます。
	JeP学びのデータ		○	○	
協定校推薦	調査書・志望理由書等	○			高等学校での学修成績が優秀であり、かつ本学科での学修に意欲的な者を受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	レポート		○		
	面接試験			○	
指定校制推薦	調査書	◎			高等学校での成績が優秀であり、かつ本学科での学修に意欲的な者を受け入れます。
	志望理由書	◎			
	活動レポート		○	◎	
	論述試験		◎	○	
	面接試験		○	◎	
スポーツ推薦	調査書・志望理由書等	○			本学科での学修に関心があり、かつ運動競技において活躍が期待される者を受け入れます。
	小論文		○		
	面接試験			○	
院友子弟等特別選考	志望理由書			◎	建学の精神を理解し、本学科での学修に意欲的な院友子弟等を受け入れます。
	レポート	○	◎		
	2次選考試験	◎	○		
	面接試験			◎	
学士・一般編入学	専門科目	◎	○		本学科での学修・研究に明確な目的意識と高い意欲を持つ者を受け入れます。
	面接試験		○	◎	
外国人留学生	日本語小論文	○	◎		日本語の駆使能力を有し、本学科での学修に強い関心を持つ外国人留学生を受け入れます。
	面接			◎	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 4つの専門コースで学ぶ実証的な歴史学

1. 4つのコースと幅広い専門分野

日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観の4つのコースがあり、幅広い専門分野の中から自分の専攻を選択できます。文字史料に基づく文献史学以外にも、考古資料・美術工芸品・文化景観などを扱う多様な授業を開講しています。

2. SプログラムとPプログラム

卒業後のキャリアデザインに合わせて選択する2つの履修プログラムが用意されています。一般企業への就職や公務員を目指す人には、幅広く歴史の教養を身に付けるStandard career program (Sプログラム)、教員や専門職、大学院進学を目指す人には、歴史をより深く学ぶProfessional career program (Pプログラム)を推奨します。

3. 充実した演習と卒業論文

「史学導入演習」「史学基礎演習」「史学展開演習」「史学応用演習」の各演習科目を4年間かけて段階的に履修しながら、歴史学の研究法を実践的に学びます。2年次には専攻を決め、指導教員による論文指導が始まります。4年間の学びの総括となるのが卒業論文です。



授業紹介

史学入門Ⅰ・Ⅱ

この授業では、文学部史学科の新入生を対象として、各コース・各専門分野の特色を概説するとともに、歴史の研究に必要な基礎知識や研究方法を分かりやすく講義します。大学で学ぶ歴史学とは何か、どのような専門分野があるかを知り、史学科生としての基礎学力を身に付けてもらいます。

東洋史特殊講義

この授業では、古代から現代までの長期にわたる日中関係史を、時の流れとともに変転する時代ごとの特徴と、歴史の根底を脈々と流れて時代を超えて受け継がれる伝統との双方に配慮しながら講義します。



考古学調査法Ⅰ・Ⅱ／考古学実習Ⅰ・Ⅱ

夏季休暇期間中におこなう遺跡の発掘調査（考古学実習Ⅰ・Ⅱ）に参加して、考古学調査の基礎知識とさまざまな技術を実習する授業です。考古学調査法Ⅰでは測量器材の使い方や調査対象遺跡について勉強し、発掘の計画と準備を進めます。考古学調査法Ⅱでは出土した遺物や記録を整理し、発掘調査報告書をまとめます。本格的な写真撮影やパソコンを使った文書・画像の制作なども修得します。



日本時代史Ⅰ・Ⅱ

古代日本に律令制国家が成立して以降、権力構造はどのように変化し、支配者層はいかに対応していったのでしょうか。この授業では、8世紀と9世紀以降に焦点をあて、古代天皇制がどのように変化していったのかについて考えていきます。高校までの暗記中心の日本史とは異なり、複数の学説を紹介しながら、史料をどのように解釈すれば合理的説明ができるのか、講義を通して考えてほしいと思います。

西洋史概論Ⅰ・Ⅱ

西洋史を通史的に理解するための授業です。そもそも「西洋」とはどこを指すか、という問題に始まって、古代ギリシアから21世紀の現代まで、およそ2500年の歴史を、古い時代から順に、時代区分に即して説明します。概論Ⅰは、西洋史を包括的に扱います。概論Ⅱでは、西洋史をグローバルな視点で捉え直しながら、近現代史を中心に解説していきます。

地域文化と景観調査法

日常生活やビジネス・シーンで多用される地理情報システムGISの基礎と、その歴史・景観研究への活用法を学びま



す。また春・秋に岩手県の学習田で農業体験を兼ねた現地調査実習を実施します。

専任教員

■ 青木 敬 教授

歴史考古学／古墳時代・古代の考古学

■ 青木 豊 教授

博物館学／展示史、博覧会史、地域文化論、和鏡史

■ 大久保桂子 教授

イギリス近代史、西洋近代史

■ 佐藤長門 教授

日本古代史／日本古代王権・国家論

■ 澤田 浩一 教授

公民科教育、道徳教育、社会科教育

■ 高橋秀樹 教授

日本中世史／平安～鎌倉の貴族、武家

■ 谷口康浩 教授

先史考古学／縄文時代の社会構造、儀礼祭祀の考古学

■ 根岸茂夫 教授

日本近世史／政治史、武家社会、識字能力と文書、農村史、国学史

■ 林 和生 教授

歴史地理学、地域研究（中国）／近代中国の商業と都市の研究

■ 樋口秀実 教授

中国近代史／中国近代政治史、日中関係を中心とする東アジア国際政治史

■ 矢部健太郎 教授

日本中世史／政治史、公武関係史

■ 吉岡 孝 教授

日本近世史／江戸幕府論・幕末史・地域社会史

■ 吉田敏弘 教授

歴史地理学、地図史／日欧の中世農村論、荘園絵図・寺社絵図をはじめとする中世絵図研究

■ 江川 式部 准教授

中国古代史

■ 神長 英輔 准教授

ロシア近現代史、東北アジア近現代史

■ 柴田紳一 准教授

日本近現代史／近代日本の政治・外交・軍事

■ 多和田真理子 准教授

日本教育史、教育学／近代地域教育史

■ 手塚雄太 准教授

日本近現代史／近代日本の政治・経済・社会・地域史

■ 山崎雅稔 准教授

日本古代史、朝鮮古代史／日朝関係史、東アジア交流史、歴史教育

専門教育科目構成 [令和2年度参考]

○数字：単位数

	1年次	2年次	3年次	4年次
基幹科目	史学入門Ⅰ②・Ⅱ② 史学導入演習Ⅰ② 史学導入演習Ⅱ②	史学基礎演習Ⅰ②・Ⅱ②	史学展開演習Ⅰ②・Ⅱ②	史学応用演習Ⅰ②・Ⅱ② 演習・卒業論文⑧
コース別基幹科目	概論科目	日本史概論Ⅰ②・Ⅱ② 東洋史概論Ⅰ②・Ⅱ② 西洋史概論Ⅰ②・Ⅱ② 考古学概論Ⅰ②・Ⅱ② 地域文化と景観概論Ⅰ②・Ⅱ②		
	日本史学コース	日本時代史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②・Ⅴ②・Ⅵ②・Ⅶ②・Ⅷ②		
	外国史学コース	東洋地域史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②	西洋地域史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②	
	考古学コース	考古学各論Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②・Ⅴ②・Ⅵ②・Ⅶ②・Ⅷ②		
地域文化と景観コース	地域文化各論Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②	文化景観各論Ⅰ②・Ⅱ②		
総合科目		史料講読Ⅰ②・Ⅱ② 外書講読Ⅰ②・Ⅱ② 考古学調査法Ⅰ②・Ⅱ② 考古学実習Ⅰ①・Ⅱ① 地域・景観調査法Ⅰ②・Ⅱ② 史学専門講義②		
展開科目	江戸東京の歴史② 渋谷の歴史② 史学情報処理初級②	有職故実Ⅰ②・Ⅱ② 史学情報処理中級②・上級② 古文書学Ⅰ②・Ⅱ② 史料管理・保存論Ⅰ②・Ⅱ② 文化財行政論② 考古科学② 文化財科学② 地域文化資源論② 地域文化財資料論② 絵図古地図研究② 環境史・災害史② 日本文化史Ⅰ②・Ⅱ② 美術工芸史② 外国考古学Ⅰ②・Ⅱ② 文化人類学Ⅰ②・Ⅱ② 人文地理学② 自然地理学② 地誌学②		
関連科目	倫理学A②・B② 日本美術史A②・B② 宗教学Ⅰ②・Ⅱ② 政治学概論② 統計入門②	哲学概論A②・B② 国際政治A②・B② 社会経済学② 社会保障論② 財政の基礎② 金融の基礎② 憲法ⅠA②・ⅠB② 現代日本経済② 経営史②	社会学A②・B② 心理学A②・B②	

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。



史学科
矢部健太郎 副学部長・教授

史学科4年
加藤 柚香さん

対談

事実に迫り 歴史を書き替える醍醐味

※学年は取材時(令和2年)のもの

矢部 史学科を説明するうえで避けて通れないのが本学の創設の経緯です。明治になって外国に目が向けられるなか、国史、国文、国法すなわち日本という国をしっかり学ぼうということで設立されたのが本学の前身である皇典講究所。これに基づいて日本の歴史の体系的な研究がスタートしました。史学科にはこうした歴史的背景があります。それだけに充実した教授陣に多彩で特色のあるカリキュラム、歴史資料・文献も豊富に揃っているなど、歴史を専門的に学ぶ環境がきちんと整っていると自負しています。

加藤 結果的に私は日本の中世史を専門的に学びましたけど、それ以外にも外国史学、考古学などと多様な選択肢が用意されています。歴史地理学的な学問である「地域文化と景観」というコースもあり、興味がある分野を任意に選択できるのは國學院ならではのものなのでしょう。それと図書館に文献・史料類が充実しているのは学生としても日常的に肌で感じます。

矢部 歴史を学び、研究する場合、あらゆる事象の原因や経過、先行き見通しなどを時間軸の中で考えなければなりません。また、それぞれに根拠を見いだす必要もあります。これは情報を適切に活用する能力、つまり情報リテラシーに通じるものがあります。そういう意味で歴史学は現代社会に通用する学問であり、学ぶ意義の一つはこれなのです。

加藤 中学生のときに歴史に興味をもち、それが高校生になってより強くなりましたが、大学での研究は、こうした単純に歴史が好きで覚えるということとは次元が異なります。先生方の手厚いサポートがあったので有意義に中世史を学ぶことができました。日本の中世はどんどん権力者が遷り変わりましたが、有名な武将が意外にも人情家だったりして、そういった新たな発見をする面白さもあります。

矢部 そうそう、歴史を学び研究する醍醐味は、文献や史料を読み解くことなどを通じ、新たな歴史を創り出せるところにあります。真実にはタイムマシンがない限り到達できませんけど、より妥当性が高そうだとすることで真実に迫っていくことが可能なわけです。歴史とは、新たな事実の発見によって変わっていくものなのです。

加藤 もう一つの意義として、過去から学び、今の時代を生きるための教訓として生かすこともできますよね。そうした例は実に数多くあるように思えます。私が歴史に興味をもち、面白く感じた要因の一つは、このことでした。

●史学科を漢字一文字で表すと・・・



鍛

素材を収集し、真偽を見極めて歴史を復元していく作業は、日本刀を鍛え上げる作業に似ている。史学科での厳しい学問の探求により、心身を鍛えられると思うため



広

知識、学びが広がり、広い視野を持てるため

哲学科



西洋哲学思想の研究を中心に、インド・中国・日本の思想や、美と芸術をめぐる理論的考察などについて、総合的に学修します。学生諸君の知的興味に応えるべく、あらゆる事柄を考える対象にして、多様なものの見方を学びます。3年次には「哲学・倫理学」「美学・芸術学」のいずれかのコースを選びます。

入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

文学部哲学科では、以下のような学生を受け入れます。

- 東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する者。
- 哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる者。
- 文献を読解し、渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる者。

上記の方針に基づき、以下の観点で入学希望者を審査します。

[AP1] 現代文、英語を中心に、哲学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を習得しているか。

[AP2] 自分の知識・技能に基づいて、論理的に考え、自ら判断し、それを表現する能力を持っているか。

[AP3] 哲学（哲学・倫理学や美学・芸術学分野）に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。

また、入学までに「国語総合（現代文）」「コミュニケーション英語I, II, III」「英語表現I, II」を身につけ、さらに「倫理」「現代社会」「世界史B」「日本史B」「美術I」「音楽I」およびそれに相当する教科を一つ以上履修していることが望まれます。

入学者選抜制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		高等学校で履修する科目について、高等学校卒業相当の知識を持つ学生を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		
公募制自己推薦（AO型）	レポート	○	◎	○	哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を強く持つ者を受け入れる。
	自己推薦書		○	◎	
	課題図書に基づく小論文	○	◎		
	面接試験		○	◎	
系列三高校推薦	調査書	◎		○	哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を、本学系列三高等学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	JeP学びのデータ	○		○	
協定校推薦	調査書・志望理由書等	○			哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を、本学から依頼した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	レポート		○		
	面接試験			○	
指定校制推薦	調査書	◎			哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を、本学が指定した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	
院友子弟等特別選考	志望理由書		○	◎	哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ全国の院友（本学卒業生等）子弟等を受け入れます。
	レポート	○	◎		
	課題図書に基づく小論文	◎	○		
	面接試験		○	◎	
社会人特別選考	小論文	○	◎		哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	
学士・一般編入学	小論文	○	◎		哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	
外国人留学生	日本語小論文	○	◎		外国籍であり、日本留学試験で所定の成績を修め、かつ哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 — 自分の資質や関心に応じて二つのコースを自在に行き来する

「世界は本当に私に見えているような世界なのか」「時間に始まりや終わりはあるのか」「死はどんな場合にも悪いことか」「歴史は進歩のプロセスか」「科学と疑似科学の違いは何か」「美しいものは誰にとっても美しいのか」「芸術と芸術でないものの違いはどこにあるのか」——これらはいずれも哲学が久しく取り組んできた問いです。答えは今も出ていません。でも、諦めずに今なお問われ続けているのは、これらの問いが、いつの時代の人にとっても放っておけない切実な関心事であるからに違いありません。そこから、現在の問題と取り組むものでありながら歴史に問い尋ねることに大きな意味があるという、哲学の不思議な、面白い特徴が生まれます。

國學院大學の哲学科の特色は、二つあります。

一つは、**哲学・倫理学コース**と**美学・芸術学コース**の二つのコースからなっている（学生は3年次にコースを選択する）ことです。文学部に属してはいますが、哲学は、文系・理系・芸術系すべての人の関心をカバーできると称する欲張った学問です。他大学では哲学科・倫理学科・科学哲学科・美学科・美術史学科などに分かれて勉強することを、学科の区別から自由に、総合的に学べる場——それが、國學院大學哲学科の特色です。なお、哲学・倫理学コースと美学・芸術学コースのどちらかを選択するということは、どちらか一方しか学ぶことができないことを意味するものではありません。

もう一つの特色は、現代の問題に歴史に目配りしつつ取り組むことをめざす、**歴史と現代の絶妙なバランス**にあります。**哲学・倫理学コース**では、三人の教員がそれぞれ英米・独・仏をフィールドとして近・現代の哲学を講じる一方で、古代ギリシア哲学とインド哲学を専門とする二人の教員が哲学の始まりにまで遠く歴史を遡る思索を繰り広げます。ですから、ギリシア語、ラテン語、サンスクリット語といった古典語も学ぶことができます。

美学・芸術学コースでは、美しさについて理論的に考察しつつ現代芸術の新たな動向を、ジャンルを問わず旺盛な関心をもってフォローすることができると同時に、西洋・東洋の美術の歴史に学び、美の歴史的宝庫に深く沈潜する研究が可能です。



授業紹介

基礎演習 I A・B

1年生のための哲学の導入科目で、さまざまなテーマで開講されています。例えば、福沢諭吉の『学問のすゝめ』を教材にして、幕末維新に日本の大変革を担った人が、西洋から何を吸収定着しようとしたのか、そのスリリングな辛苦に密着するとともに、西洋の言語を日本語に置き換える感性と理性のありさまをじっくりと考究する授業があります。

美学 A・B



美学 A・B では、美や感性、芸術をめぐる諸問題について取り組みます。具体的には「なぜ料理は芸術にならないのか?」「なぜ近代までの芸術家の多くは男性なのか?」「なぜ現代の私たちは二オイに対して過敏に反応するのか?」などで、それらはより実際的な問いとなります。そして、こうした美や感性、芸術の諸問題についての思考をつうじ、わたしたちのモノの見方や、わたしたちのあり方について探求していきます。

西洋美術史 II A・B

「西洋美術史」は、前期では古代メソポタミアから紀元1000年まで、後期ではロマネスク時代から20世紀に至る美術の流れを追う授業です。広くは芸術、そしてより狭義には美術に関心を持つ皆さんに、西洋における美術の歩みを包括的に理解していただくための基礎となるように網羅的なスケジュールにもとづいて、毎時間、パワーポイントを使って芸術作品を映し、それらを生み出した時代背景も含めて解説しています。広大な時空間を、作品を通じて旅するわけですが、そもそも造形行為とは何か、そこに込められた各時代・民族の死生観とはなにか、といったテーマを提示しつつ、創造力と想像力の「力」の謎についても迫りたいと思います。「作品」が語る歴史は、「人間とは何か」という問いへと私たちを誘ってくれるでしょう。

倫理学 A・B

「良い」「悪い」という性質について、しつこく考えます。例えば、「善い人の人生は「よい人生」か?」「死は「悪い」ことか?」。さらに、「すべての人がすべての人を愛すべきか?」「男は強く、女は優しくあるべきか?」「自由と理性は対立するか?」「[「できる」こと、「したい」こと、「すべき」こと]の関係はどうなっているのか?」「[「アイデンティティ」ってよいものか?」「日本人は不幸な国民か?」という具合に、問いはぞろぞろ出てきて、考えだすと止まらなくなります。

哲学概論 A・B

哲学概論 A・B では、存在とは?自由とは?時間とは?知識とは?心とは?言語とは?などのさまざまな哲学的問題について考えます。哲学者や哲学の歴史ではなく、あくまでも問題を中心に置いてさまざまな議論を概観しつつ、答えを探していきます。



西洋哲学史 I A・B

古代ギリシアにおける愛智(ピロソ피아)の精神、および中世キリスト教哲学へと結び付くその思想史的展開を学びます。西洋の豊かな知の源流へと遡り、「存在」への問いを共有するところからあなた自身の哲学の探求が始まります。また西洋思想を理解する上では欠かせない神の概念についても丁寧に読み解いていきます。

応用倫理学 A・B

単なる区別と差別の違いは何なのか?寄付をしないことは悪いことなのか?—性差別や性的マイノリティへの差別、出生前診断や死刑の是非、報道倫理や貧困・難民問題などについて、流布している誤解をうのみにせず、反対意見を理解しながらとことん「自分の頭で考える」ことを目指します。

専任教員

- 金杉武司 教授
西洋現代哲学、英米哲学/心の哲学
- 木原志乃 教授
西洋古代哲学/古代ギリシャ医学思想史
- 小池寿子 教授
西洋美術史/キリスト教中世美術/死生観

- 藤澤 紫 教授
日本美術史/江戸文化論/比較芸術学
- 藤野 寛 教授
西洋近現代哲学、倫理学/ドイツ現代思想
- 小手川正二郎 准教授
西洋近現代哲学/現象学

- 松谷容作 准教授
美学・芸術学/視覚文化論
- 渡辺俊和 准教授
インド哲学/仏教認識論・論理学

専門教育科目構成 [令和2年度参考]

○数字：単位数

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目	演習・卒業論文	基礎演習ⅠA②・ⅠB②	基礎演習ⅡA②・ⅡB②	哲学演習④ 美学・芸術学演習④ 卒業論文⑧
	共通科目	西洋哲学史ⅠA②・ⅠB②		
		倫理学A②・B② 論理学A②・B② 西洋美術史ⅠA②・ⅠB②		
			哲学概論A②・B② 美学A②・B② 日本哲学A②・B②	
	哲学・倫理学系科目	西洋哲学史ⅡA②・ⅡB② 日本思想史A②・B② 中国思想史A②・B②		
			インド思想史A②・B②	哲学特殊講義ⅠA②・ⅠB②・ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB②・ⅣA②・ⅣB②
美学・芸術学系科目	日本美術史A②・B②	東洋美術史A②・B②		
		西洋美術史ⅡA②・ⅡB②	美学・芸術学特殊講義ⅠA②・ⅠB②・ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB②	
展開科目		ギリシャ語Ⅰ②・Ⅱ② ラテン語Ⅰ②・Ⅱ② サンスクリット語Ⅰ②・Ⅱ② 科学哲学A②・B②	ギリシャ語Ⅲ②・Ⅳ② ラテン語Ⅲ②・Ⅳ② サンスクリット語Ⅲ②・Ⅳ② 応用倫理学A②・B② 現代哲学A②・B② 宗教哲学A②・B② キリスト教概論A②・B② 仏教概論A②・B②	
			言語論A②・B② 比較思想A②・B② 比較芸術学A②・B②	
関連科目	日本史概論Ⅰ② 東洋史概論Ⅰ② 西洋史概論Ⅰ② 宗教学Ⅰ②・Ⅱ② 社会経済学入門② 社会保障の基礎②	人文地理学② 自然地理学② 地誌学② 憲法④ 国際法の基礎② 国際政治A②・B② 経済原論② 国際経済② 地域経済統合②	心理学A②・B② 国際紛争処理法② 政治学概論② 社会学A②・B②	
		公共部門と財政②	少子高齢社会と社会保障②	

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。



哲学科3年
野口真由さん

哲学科
渡辺 俊和准教授

対談

徹底討論で解き明かす カントの世界

※学年は取材時(令和2年)のもの

渡辺 哲学科には哲学・倫理学コースと美学・芸術学コースがあります。とくに哲学科に美学・芸術学コースがあるのは、他大学ではほとんどみられない珍しいケースといえるでしょう。2つのコースがあるといっても、学生の意欲を尊重し、コースの枠を超えて授業を受けられるようにしています。美学も基本的には哲学の一部であり、美術作品に潜む思想的背景なども学ぶことができます。

野口 哲学を学ぼうとした動機の一つは、高校生の時にカントの著作『永遠平和のために』に出合ったことです。それを機に哲学に興味が増していくとともに、今の子供たちから物事を深く考える機会が奪われているのではないかという疑念も抱くようになってきました。こうした問題の解決に少しでも役立つと思うのなら、カントの平和論の現実性の検証を含め、まずは自らが物事の本質に迫るとともに、哲学を学んで思考の幅を広げていく必要があると痛感しました。このことで結果的に哲学科に入学するまでになりました。

渡辺 哲学の研究が目指すのは何でしょうか、例えば賢人の考え方を再構成し、他の思想との比較などを通じ現代に活用できる道を探るといのも一つでしょう。ここで問われるのは考える力であり、思考の幅を広げることにつながります。ですから授業も考える力を養うことを重視した体系になっています。グループによる討議も正解はなくていいのです。どちらの側の論証が妥当で、それを相手にいかに的確に理解させようとしているかといったことが大事なのです。

野口 演習などを通じ物事を多角的に考え、深く掘り下げることを習慣化できたように思えます。これからの時代に求められるのは、問題解決能力ではないでしょうか。その原動力は、人がもつ無限大の考える力です。ですから人の思考力を生

かせる仕事がしたいと思っています。人の考える力は人工知能(AI)がいくら進化しても打ち勝てる気がします(笑)。

渡辺 AIがどこまで進化していくのかは、楽しみでもあり、恐ろしくもありますね。そうした激しい技術革新の時代にあつて、哲学への人気が高まっているような気がします。本学も日本哲学から西洋哲学まで幅広い分野をカバーし、若い人たちの学びの意欲に応えようとしています。私の専門であるインド哲学にからみ、サンスクリット語を学ぶこともできます。教授陣もよく集まってはコミュニケーションを深めており、どの教員に学んでも色々な分野への道が開けるものと確信しています。

●哲学科を漢字一文字で表すと・・・



探

自他に対する批判を通じ深く思考することは、未知の領域に深く分け入る、もしくは先人が切り開いた道をさらに奥深くへ分け入っていく、ことに例えられると思うため



夢

哲学科にはそれぞれが抱く関心や、疑念に向き合って熟考する形の学びもある。これにより、夢を持って生きていく力、生きる意味を考える力が備わると思うため



日本文学科
堀 祐樹さん

中国文学科
十文字 来佳さん

史学科
岡田 奈津実さん

外国語文化学科
山本 莉紗子さん

哲学科
江口 真優さん

Q1. 皆さんには5学科のセールスマン・ウーマンとして所属学科の宣伝をしてもらいたと思います。オープンキャンパスで活躍されていて既に顔見知りとは思いますが、簡単に自己紹介を兼ねて、お名前・所属学科、そして高校時代と比べて、大学生としてどのような点で成長したか(特に学科との関係で)お話しください。

堀 僕が成長を実感したのは勉強の大切さや楽しさを感じられるようになったことです。

高校生の時まで勉強に対するイメージはやらされるものであったりやらなければならないものといったものが強かったのですが、大学にはいつてからは自分が受ける授業は自分で選べるので自分の勉強したいことを集中して勉強

できる楽しさを実感しました。また、國學院大學は勉強する環境としてとても充実していて、自分の残りの在学期間を考える度に大学を卒業してしまったらこれまでのようにこの恵まれた環境で勉強できる時間は作れないのだと思うと授業を受ける姿勢、また、自分から進んで勉強に取り組む機会が増えていきました。

十文字 中国文学科の十文字来佳です。堀くんが今話していた、勉強に対する意識の変化は、私もとてもよく感じています。それに気づかせてくれるというのが國學院の魅力の1つではないでしょうか。ところで、私がこの学科に入ってから特に成長したと自負しているのは、思考をより深く広くまで至らしめる力です。

中文では数千年前にできた漢詩から近代中国の小説、それに付随する思想・文化・風俗など4年間で触れていくものは多岐に渡ります。とりわけ文学に関しては時代的に大きな隔たりがあるにもかかわらず、我々現代人が読んでも身につまされる内容が多く含まれています。それらに触れるたびに自分の心が豊かになっていく、心が豊かになると今度は思考がより深部へ広範囲へと及ぶようになるのです。

学ぶことは生きることに直結していると実感しています。

山本 外国語文化学科の山本莉紗子です。十文字さんのお話を伺うと中国文学科は同じ「外国」を研究対象にする学科ではありますが、研究へのアプローチの仕方が違うのだ

●日本文学科を
漢字一文字で表すと…

向

自分が学びたいことや将来の進路についてとことん自分と向き合い考える機会が沢山あるから



など感じます。その違いが成長した部分の違いにもつながってくるのかもしれませんが。私が高校時代と比べて自分が成長したと思う点はいくつかあるのですが、大きく分けると語学力の向上と興味の広がり、そして学習スタイルの変化が私の成長だと思っています。外国語文化学科では英語と、ドイツ語・フランス語・中国語の中から1つ第二外国語を選択してこの2つを軸に勉強していきます。私はドイツ語を第二外国語として選択しているのですが、高校時代は自分がドイツ語を勉強するなんて思ってもいなかったところから、ドイツ語の長文を読んだり、ドイツの映像教材を見てドイツ語の聞き取りをしたり、さらには検定まで受けるようになっていきます。これは大きな成長かな、と感じています。また、英語の授業のレベルも高校とは違っています。高校生の頃は長文のリーディングが学習の中心だったように思いますが、大学では高校生の時に自分が読んでいたようなエッセイを自分で考えて書く、ライティングの授業があります。英文法の授業ではより専門的な内容を扱っており、高校時代には漠然と「英語はそういうものだから」と丸暗記していた文法事項を、細かく学習して紐解いていく授業もあつたりします。例えば高校時代には「二重目的語構文と与格構文は同じ意味でつかわれているから書き換え可能!」と何の疑いもなく書き換えていたのですが、構文が違うのに意味が全く同じになるわけがなく…。とても好きな分野なので語るとアツくなってしまうのですが、つまり、高校時代には知りえなかった英語の深〜いところまで知ることができたので、さらに理解が深まったかなと思います。1番語学面での成長を感じたのはTOEICの成績です。TOEICは大学生になってから定期的を受けているのですが、ついこの前、ちょっと厳しいかも…と思っていた目標を達成しました!

語学が軸、と先ほど申し上げましたが、語学を学習するうえで基礎知識として文化に触れる機会もあり、もちろん外国の文化を中心に扱った授業もたくさんあります。例えば外国の映画を見てその文化的背景を考察し、プレゼンテーションするような授業もあります。そんな中で、「ドイツにはこんなに画期的な制度がある!日本も見習った方がいいのでは!?ほかの国ではどうなっているんだろう、調べてみよう!」といったように、外国の文化を

学ぶことで自国に対する問題意識や諸外国の各種制度にも興味が向くようになりました。外国の文化を学んでいたからこそ、こんなにたくさんの方に興味が広がったと思っています。

最後に学習スタイルの変化ですが、高校時代の学習スタイルは試験前詰め込み型だったと思います。前日に頭にコピーした内容を切り取って解答用紙にはりつけて、結果頭には何も残っていないという典型的なダメな学習サイクルを回していたと思います。大学では語学の授業が多く、数週間おきに単語テストがあつたり、授業前の予習が課題として出されたりするため、試験前日だけ、という手段が使えなくなり、自然と学習方法が変わっていきました。そういった強制力に加えて、大学の整った学習環境も学習スタイルの変化の大きな要因であったと思います。自主学习スペースがたくさんあるし、図書館に行けばすぐに調べられる、研究室に行けば先生がウェルカムな雰囲気、HARIBOやチョコレートを用意して待っていてくれる…!これはもう勉強するしかないですよ(笑)。このようにして毎日コツコツと勉強できるようになり、学習したことへの定着度も格段に上がったと思います。

岡田 史学科の岡田奈津実です。私が高校時代と比べて成長できたと思う点は、いくつかありますが、第一には「物事の背景を考える力」が挙げられると思います。高校生までの私は、何か問題や解決しなければならぬことがあつても、小手先だけで済ませようとしたり、場当たり的に対応したりしてしまうことが多かったです。しかし、歴史学においてそのような解決方法は当然ご法度です。史学科に入学し、歴史学の学びとともに過ごすうちに、自然とその背景や原因を考えられるようになりました。もちろん、史学科は歴史を学ぶ学科ではあるのですが、その学びの過程を通して成長できることはたくさんあると思います。

同様に、「事実から論理的に考える力」も身につけてきたと思います。史学科では、過去に遺された史料から事実を読み取り、そこから自分で歴史を考え、構成していきます。高校までの歴史は、教科書の歴史を覚える事が中心だと思いますが、教科書や本に書かれている歴史が全てではありません。史学科での学びの過程では、そのような今まで手に入れてきた知識や、自分の考えと食い違う史料と出会うこともあります。そのような場面で、いかに事実を読み取って論理的に歴史を構成していけるかが大切だと考えます。私はまだまだ十分に力がついたらとは言えませんが、卒業論文の取り組みを通し、卒業まで成長し続けていきたいと思っています。

江口 哲学科の江口真優です。哲学科には色々な種類の授業がありますが、どの授業においても、「思考する力」というものが重要となってきます。そのため、哲学科に入ってから物事について深く考える機会がとて増えました。

高校時代は、何かひとつのものについて考えようとしても自分の中でどのようにまとめていいかわからないことが多かったです。哲学科の授業を受けていく中で思考



●中国文学科を漢字一文字で表すと…

海

我々中国文学科の学生は「中国文学」という大きな知の海の上にいるように思えます。そこで4年間学んでいく中で新たな陸地を見つけ出し辿り着くか、各々の裁量に委ねられる場所であると考えたからです

能力が育まれ、自分の考えをうまく整理できるようになってきました。自分の中で思考がまとまっていないと、相手に伝えたいことがあっても、それを伝えるための適切な言葉を選ぶことができません。物事について深く思考する力は、人とのコミュニケーションを円滑に進めるために必要不可欠なものです。哲学の授業はその力を着実に身につけることができるので、とてもありがたいと感じます。

Q2. それでは、各学科の魅力・特色を教えてください。

江口 哲学の魅力は、周りの人と気兼ねなく哲学について話せることと、そして何より先生方の講義でしょうか。

高校生の頃は、周りに哲学について関心を持っている人があまりいなかったんです。仲の良い友達は哲学についての話題を振ると付き合ってくれたりもしましたが、それでも「哲学」ってなかなかとつきにくいみたいで、ぱっとすぐその話題に入れるわけではないんですね。でも、大学に入ってから、(哲学科なので当たり前なんですが)哲学に関心のある人が周りにたくさんいて、今までよりも哲学について話せるようになったので、それがすごく嬉しかったです。

哲学科の先生方は本当に素晴らしい人ばかりで、講義がすごく楽しいですね。私は入学当初哲学に関して特別詳しくはなかったので、授業についていけないか、授業の内容が理解できるか不安だったんですが、例を用いてわかりやすく話してくださったので、全部はわからずとも、予備知識がないから全くわからない!とはならず済みました。哲学科の授業は、何よりも「自分の思考を深めること」に重きを置いているので、自分の中にある考えを、自分の言葉で表現する力をつけることが出来ます。こういった力を育むことにより、今まではぼんやりとしか表せなかったものを、より明確に周囲に伝えることができるようになるため、授業で吸収したものが普段の生活の中でも役立っているな、と感じます。

岡田 史学科の魅力は、幅広く、かつ専門的に学べること、先生方との距離が近いことだと思います。

1年次には、「史学入門Ⅰ・Ⅱ」や「史学導入演習」といった授業を通じ、歴史学の様々な分野や研究方法について学んでいきます。特に「史学入門」の授業は、日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観の各コースの先生方が、毎週交替で、歴史の見方や研究への取り組み方を講義して下さいます。様々な分野の先生の話幅広く聞くことができ、自分の興味を広げるきっかけにもなります。1年次後期から2年次には、「史学基礎演習A・B・C」という演習科目を必修で履修することになりますが、「A・B・C」それぞれ別分野の先生の授業を履修することができます。私は現在3年生ですが、日本近世史のゼミに所属し、卒業論文の準備にあたる演習発表などを通し、より専門的に歴史学の研究を学んでいる最中です。1年次から段階的に学びを進めることにより、様々な分野のいろいろな

●外国語文化学科を
漢字一文字で表すと…

彩

個性豊かな学生が多く、
国際色も強いため



ことに興味を持つことができ、多様な学びの可能性を得ることができます。

先生との距離の近さですが、学問や学校生活の悩みを聞いてくれる先生が史学科にはたくさんいます。さっき山本さんが「研究室に行けば…HARIBOやチョコレートを用意して待っていてくれている」と言っていました(Q1)、残念ながら史学科にはお菓子を用意してくれている先生はたぶんいません(笑)。ですが、豊富な知識と経験とともに、いつでも私たちを迎え入れてくれます。何でも話せて親身になって考えてくれる先生方がいて、気軽に相談できるのは本当にありがたいです。入学したら、是非、先生方と積極的に話してみてもらいたいです!

あとは、先ほども少し話しましたが、教科書や本に書かれている歴史が全てではなく、史学科での学びの過程では、今までの知識や考えとは異なる史料と出会うこともあります。これは高校までの歴史の勉強にはない、歴史学ならではの新しい出会いだと思います。このような「自分で歴史を見つける」という喜びも、史学科の大きな魅力ではないかと思います。

山本 大学生になると自分で研究を進めていかなければいけないので、1年生の段階で各コースの先生方が研究への取り組み方をレクチャーしてくれるというのはとてもありがたいですね。私の学科の魅力は、広い視野を持つことができる点と個性豊かな学生が多いこと、そして岡田さんもおっしゃっていたので文学部は全体としてそうなのかもしれませんが、先生方の手厚いサポートだと思っています。

外国語や文化について学んでいるので、少なくとも日本国内には留まらない視野の広さを外国語文化学科の学生は持っていると思います。留学に行つてさらに自分の世界を広げようとする友人や将来海外で働くことを目標としている友人も少なくありません。友人の話は2つ目の魅力の個性豊かな学生が多いことに繋がりますが、多様な考え方を持った学生が共存しているのが外国語文化学科だと思います。あえて「共存」という言葉を使わせていただいたのですが、違う考え方でも尊重して、受け入れていくスタイルが確立されているのではないかなと思います。多様な文化を考察して受け入れていく外国語文化学科ならではのスタイルだと少し誇らしく感じています(笑)。将来したいこ

とについて明確な自分の考えを持った学生が多い学科ですが、それをサポートして下さるのは先生方です。過去に習った文法事項に不安がある学生がいると対策プリントを作って、授業中に復習する時間をくださったり、資格検定の勉強にも授業時間外の時間を使って補講をしてくださったりします。外国語文化学科の先生は質問歓迎！研究室においで！というスタンスの方が多く、気兼ねせず疑問を解決できます。自分1人であれこれ悩むよりもサクッと解決できて、とても助かっています。

十文字 広い視野を持つという点においては中文も外文と同様、日本の外の事物を研究対象としていますが、総じて外文の学生の方がより海外に対する意識が高いなという印象は受けます。

あと……、研究室がオープンな雰囲気なのはとても羨ましいです。中文の場合は行けば勿論丁寧に対応して下さいますが、それ以上に緊張で、まるでなにか戦地に赴くかのような心境になるので…(笑)。それはさておき、中文の授業は1年次からとにかく専門性が高く、それに伴い教授陣から要求される水準も高いです。他学科の方々が耳にする「中文は厳しい」という噂は比較的正しいと言えます。ただ、その厳しさは大学に於いて学問をやるということの本質の現れであり、大学生の本来の姿であると考えます。

「つらいから、厳しいから」と投げ出すことは簡単です。しかしながら、そこから逃げ出さず真摯に学問に向き合うことが出来た人は、堂々と胸を張って「大学で勉強をしました」と言えることでしょう。

中国文学科はそんな「学問の本質」に触れられる稀有な場所であると考えています。

堀 日本文学科は、その名の通り日本文学を学びたい人の欲しいものが全て手の届くところにあることが1番の魅力かと思います。

幅広い時代のうちで各時代の文学を専門に研究している教授の先生がいて、その中でも専門の時代から作品レベルにまで焦点を絞って研究をしている先生もいます。そのような先生方から直接の指導を受けることができるのは國學院の強みと言えます。また、指導を受けるという面だけでなく、自主的な勉強の面においても図書館には豊富な蔵書

数と貴重な文学資料が多数あり、図書館の勉強スペースも年々改善されていて不便を感じることなく勉強に集中できます。教授の先生からの指導で知識が身に付き、その中で見つかった疑問などをすぐ解消するための環境があるというのは当たり前のように思えて、揃っていることは多くはありません。日本文学科は学生それぞれの興味のあること、やりたいことをとことん突き詰めて勉強することができる環境が整っている場所です。

Q3. 皆さんの今、そして卒業までにやり遂げたい！という目標について教えてください。

十文字 中国文学に限らず出来るだけたくさんの書物に触れ、自らの教養を深めていきたいと考えています。

岡田 私のこれからの目標は、自分が満足できる卒論を書くことです。3年生になってから、日本近世史のゼミに所属し、卒業論文執筆に向けた準備を少しずつ進めています。正直、「私なんか卒論が書けるのかな」という不安も大きいですが、せっかく大学に来て、史学科で学んできたので、「これが4年間の集大成です！」と胸を張って言えるような、そんな卒論を書きたいと思っています。

堀 今、私は自分の所属団体のリーダーを務めており、その団体の体制が10月から新しいものとなりました。今は何をすることも手探りの状態なので、私がリーダー在任中にしっかりとした土台を作り、これからの後輩たちが少しでも活動しやすい環境作りに努めていきたいと思っています。

山本 私は卒業までに英語検定の1級、TOEIC900点以上、独検準1級を取りたいです。せっかく語学を専門的に学べるところにいるので語学に関しては胸を張れるようになりたいなと思います。

江口 できるだけたくさんの哲学書を読むことです。哲学の本って、文章の書き方が少し回りくどいものが多かったりして、1年生の頃はあまり自分から進んで読むことができなかつたんです。授業を通して哲学の文章に触れることによってようやく哲学書の文体に慣れてきたので、これからは今まで読めなかつた本にも挑戦していきたいです。

Q4. 差し障りがなければ、将来の目標について教えてください。

山本 今は公務員になりたいなと思っています。公務員になりたいと思ったのは諸外国の文化を学ぶ中で教育システムや社会保障制度など、日本よりも優れていると感じる部分がたくさん見つかり、この学習を将来の日本を今よりも良くするために生かせたらいいなと感じたからです。職業でいえば公務員ですが、まだまだ私は広〜い世界のほんの少しのことしか知らないと思うし、日本のことだってわかっていない部分がたくさんあります。だからもっといろんなことを知りたいと思いますし、将来は自分の学びを誰かのために活用できるように過ごしていきたいなと思っています。

●史学科を
漢字一文字で表すと…

究

自分の好きなこと、興味のあることを追究します。学びたいことを究められる学科です



考

●哲学科を
漢字一文字で表すと…哲学は思索を主体とした学問
なので、この字を選びました

江口 2年生ということもあり、恥ずかしながら、私にはまだ将来についての明確な目標はありません。ただ、どんな職業に着くとしても、コミュニケーション能力、ひいては伝達力が必要になってくると考えているので、そういった力が必要な場面で哲学科で得た知識や思考方法を上手く活かせたらな、と思います。

堀 僕にはまだ具体的な将来の目標というものがありません。これから就職活動が本格的に始まりますのでまずはそこに全力を注ぎ、その中で目標となることを見つけることができたらいいなと思っています。今は企業研究を進めるとともに、SPIなど就活で必要になってくる試験の勉強に注力しています。

岡田 私はまだ就職について決め切れていないのが現状ですが、どんな職種であれ、史学科で培ってきた「物事の背景を考える力」や「事実から論理的に考える力」は、きっと私の助けになってくれると思います。将来の目標というほどではないかもしれませんが、誰かに必要としてもらえるような存在になりたいです。

十文字 公務員を志望しており来年の試験に向けて勉強中です。

試験では漢文の出題は無く専ら法律・経済系の勉強が中心なのですが、新しいことを学び吸収することの意義を考えながら日々新鮮な気持ちで取り組んでいます。

これまで中文で学んできたからこそ、そのような姿勢になれたのだと思います。

Q5. 最後に、各学科の受験を考えている受験生の皆さんにアドバイスをどうぞ。

十文字 所謂、「滑り止め」枠だった中文に進学が決まった時は嬉しさよりもある種悔しさの方が優っていました。もっと頑張ればもっと偏差値の高い所へ進学できたのに、と。

しかし、偏差値だけではわからないことがこの学科にはありました。4年間、有意義な大学生活を送りたいのであれば受験することを強く推します。

堀 皆さんにはやりたいこと、興味のあることをなにか1つ明確にして欲しいです。その「なにか」は受験生の時には目標になって受験勉強を頑張るための指標の1つになると思います。また、大学に入ってからはその「なにか」が大学での学びを楽しく、有意義に感じさせるものになると思います。皆さん頑張ってください。

江口 所属している学科に対してこんなことを言うのは失礼かもしれませんが、哲学科はあまりメジャーな学科ではないので、進学するにあたって周りから何か言われたり、不安を抱えている方もいるかもしれません。でも、自分のやりたいことがここにあるから哲学科に行きたい、哲学に興味がある、というような想いがあるのなら、それに従うべきだと私は思います。私は、自分について考えるために、ひいてはそれに必要な思考力を培うために國學院大学の哲学科に入学しました。入学してからそろそろ2年が経

ちますが、現時点でその目標へと着実に近づいていると感じるので、やはり自分の判断は間違っていなかったと思います。

受験生の皆さん、受験に向けての勉強は大変だと思いますが、その分合格した時の喜びはとても大きいものになると思います。どうか最後まで諦めず、頑張ってください！

山本 勉強はやったらやった分だけ自分の自信につながるとと思います。将来の自分が胸を張って笑っていられるように、今できることを一生懸命頑張ってください！

岡田 私も山本さんと同じで、将来の自分のために、今できることを頑張ってもらいたいと思います。

文学部に興味を持ってきている皆さんは、「文学や哲学、歴史が好き！」だとか、「勉強してみたい！」と語ってくれているんだと思います。

私は、高校3年生の10月まで、他大学の経済学系の学部を目指して受験勉強をしていました。しかし、「歴史を勉強したい」という気持ちで、史学科への進路変更を決め、この大学を受験しました。正直、受験準備に十分な時間を取れたとは思いませんが、あの時史学科への進学を決めてよかったと思っています。おかげで、辛かったはずの受験勉強も、楽しみながら向き合えたし、とてもいい思い出です！もうやりたいとは思いませんが(笑)

皆さんにも、大学選びでは、今持っている「好き」という気持ちや「好奇心」を大切にもらいたいです。きっと、受験勉強や大学に入ってから学びの支えになってくれるはずです。

勉強が辛くなったり逃げたくなったりすることもあるかもしれませんが、そんなときこそ、大学生になった自分をイメージして、未来の自分のために努力し続けてください！

皆さん、長い時間、ありがとうございました。

聞き手：宮内克浩（中国文学科）

國學院大學文学部は今日まで多くの人材を教育界に送り出してきました。本学の教職課程は教育職員免許状の取得をめざす学生を対象とする資格課程であると同時に、現代の学校や社会のかかえるさまざまな教育問題に主体的に取り組むことのできる個性豊かな人間の育成をはかるための教育を行っています。

◆ 教職課程とは

日本の現在の教員養成は、教員養成系大学・学部とそれ以外の一般大学における教職課程の二本立てで行われています。後者は、教員養成に特化した機関ではなく、広く大学教育全体の中に教員養成を位置づけるシステム（「開放制教員養成制度」と呼ばれる）であり、本学は、長年、このシステムによって多くの教員を輩出してきました。

◆ 取得できる教員免許状の種類及び教科

本学では、中学校・高等学校・幼稚園・小学校及び特別支援学校教諭の一種免許状が取得できます。文学部で取得できる「基礎免許」の種類及び教科は、学科ごとに下表に示すとおりですが、所定の条件を満たすことにより、下表の「副免許」を取得することも可能です。

適用される教育職員免許法の条項により、必要となる科目区分や単位数は異なります。

▶ 免許の種類

		学科	日本文学科	中国文学科	外国語 文化学科	史学科	哲学科
中学教諭	1種	国語	●	●			
		英語	□	□	●	□	□
		社会	□	□	□	●	●
高等学校教諭	1種	国語	●	●			
		書道	○	□			
		英語	□	□	●	□	□
		地理歴史	□	□	□	●	□
		公民	□	□	□	□	●

●：基礎免許① ○：基礎免許② □：副免許

▶ 教職課程単位修得者数 (平成30年度)

		学科	日本文学科	中国文学科	外国語 文化学科	史学科	哲学科
中学教諭	1種	国語	79	4	—	—	—
		英語	0	0	8	0	0
		社会	1	0	0	57	1
高等学校教諭	1種	国語	82	3	—	—	—
		書道	8	0	—	—	—
		英語	0	0	10	0	0
		地理歴史	1	0	0	71	1
		公民	1	0	0	46	1



井上 友美子さん 東京都中野区立第五中学校教諭（国語科）

日本文学科 平成29年卒業

理想の教師とは何でしょうか。私は“子供たちのために行動できる教師”だと思っています。國學院大學には、教職を目指す志の高い仲間・支えてくださる先生がたくさんいて、この答えを導くことができました。教育課程を1年時より履修、2年時からは教職総合ゼミナールに所属し、採用試験の勉強だけでなく実践力を身につけました。どんな授業も経験も、子供たちのため。そう考えると学びはさらに鮮やかになり、惜しみなく努力することができました。現在、中学1年の担任・部活動顧問をしていますが、この思いは変わりません。子供たちのために誠実に行動すれば、必ず応えてくれる、と強く感じています。これからも大学での学びを生かしながら、目の前の子供たちのために授業をつくり、かける言葉を考えていきたいと思っています。



河野 佳代子さん 埼玉県立高等学校教諭（芸術科 書道）

日本文学科 平成25年卒業

私は現在、高等学校芸術科の書道の教員として公立高校に勤務しています。現在は2年次担任、書道部顧問として、生徒たちと共にとても濃い日々を送っています。

大学時代は、書道研究会に所属し、先生方の熱心な御指導の下、主に仮名古筆を中心に、臨書をしたりそれを活かして和歌を做書したりと、何事も楽しみながら書に取り組んでいました。いざ教壇に立つと「書は上手下手で決まるのでは?」「自分にはできないのでは?」など、書に抵抗感を覚える生徒が多いのが現状です。だからこそ、生徒に書を教える立場となった今、いつも念頭においていることが書を楽しむということです。生徒に、書を通して、できるという発見や喜び、楽しさを感じてほしいと思っています。好きなことを仕事にできている喜びを感じながら教材研究に取り組み、自分自身も向上できるように努めています。大学での出会いや経験、そして書を通して培った継続力や忍耐力は今の私の大きな支えです。卒業後も心強い繋がりを持つことができ大変嬉しく思っています。



後呂 知美さん 埼玉県公立中学校教諭（英語科）

外国語文化学科 平成28年卒業

漠然と資格を取ろうと思って、教職課程を取ろうと考えている人は時間的にも金銭的にも負担がかかるので考え直してもいいかもしれません。学校現場で仕事をして感じたことは、想像以上に時間がないということです。これから大学に通われる皆さんには時間がとれる大学生の間に教員の仕事について深く学び、教科の専門性を高めることに努めてほしいと思います。

いずれにせよ、教員の仕事は毎日が勝負です。毎日の授業をしつつ、明日、1週間後、3年後の卒業をイメージしながら指導をしていく必要があります。大変だということもありますが、日々成長していく生徒と関わることにこの上ない喜びを感じています。

大学で何をするかは自分次第です。自分の進むべき道を模索してみてください。



神谷 悠紀さん 東京都立板橋有徳高等学校教諭（地理歴史科）

史学科 平成29年卒業

教職課程を履修するなかで、「教える」だけではなく「育む」ことが重要であることを学びました。私は、大学一年次より、出身高校の部活動の外部指導に取り組んでいました。大学で学んだ知識や理論を、実際に生徒と触れ合いながら実践することで、教育するというものの理解を深めていきました。また、教育実習では、実際に授業を行うことで、「勉強すること」と「教える」ことの違いを学び、自分自身の未熟さを実感しました。

教員になるためには、教えられるのを待つのではなく、自ら学ぶことが何より大切だと思います。大学生活4年という時間を無駄にせず、少しでも多くのことを学んでいけるよう頑張ってください。



品田 直希さん 都立高校教諭（公民科）

哲学科 平成29年卒業

教職課程は、入学して間もない1年次から4年間かけて継続的に履修します。卒業に必要な単位のほかに、教員免許状取得のために相当数の単位を取得しなければなりません。また、教員になるために必要なのは講義だけでなく、2年次の介護等体験、3年次から始める採用試験の対策、4年次に行われる教育実習と採用試験本番を経て、計画的に自らの資質・能力を高めていくということです。長期的な過程であるからこそ、計画性はもちろん、何より「教員になりたい」という強い気持ちが大切だと思います。

私の大学生活を振り返ってみると、哲学科のカリキュラムと教職課程の他、副専攻の履修、体育会（部活動）、アルバイト、採用試験の対策など、とても充実したものでした。「高校公民科の教員として採用される」というのは、他教科・他校種と比べて採用数が著しく少ない荊の道です。しかし、それを乗り越えられたのは、哲学科で「考える力」を身に付け、常に自分自身と向き合いながら、信念を貫き通したからこそその結果だと思っています。

※学年は取材時（令和2年）のもの



—**埜中さんは博報教職育成奨学金を受給されて、教師を志望しているということですか。その理由は何ですか。**

高校3年生の頃ですけれど、この先、何を学び将来的には何をしたいのだろうかと自問自答した時期がありました。その頃もすでに古典とくに漢文が好きだったので、ぼんやりと浮かび上がってきたのは、やはり興味のある分野を生かした仕事、つまり教師でした。その当時、私に古典を教えてくれた先生は受験対策のために補講を設けてくれるなど、教科書の枠を超えて熱心に指導するタイプでした。こうした指導を受けるうちに、個人的にも広範な教え方ができる教師になれたらという思いが強まり、最終的に教師を目指すことになり、教職課程も選択したという経緯です。

—**なぜ漢文に魅了されたのですか、どんな魅力がありますか。**

いろいろな要素が複合されているのだと思います。まず独特のリズム感ですね。「国破れて山河在り」とスパッと切れて節目が明確ですし、ある決まった漢字の音の響きを指す「押韻」を見つけるのも楽しいですね。それと文字数などの形式が決まっている漢詩がもつ響きの美しさも見逃せません。声に出して読んだときにスムーズに出てくる響きが何とも気に入っています。それと詩の中身が現代人の私たちにも理解できて、思わず笑える話もあります。そのため高校生の頃から漢文の授業が楽しみでした。

—**國學院大學を選んだ理由は。**

高校の先生に薦められたということもありますが、自身でカリキュラムとか授業内容を他の大学と比較し、最終的に決めました。入学後は漢詩の研究会にも入り、上級生から着眼点をどこに置くかや典故つまり抛りどころとなる故事についても詳しく教えてもらうなど充実した日々を送っています。志す方向が同じという点でかけがえのない友人関係が築けますし、サークル活動を含め探求心に応えてくれる大学だと感じています。

—**どういう教師像を描いていますか。**

古文や漢文に楽しさを感じて教師を目指すことになったので、古典の読解は楽しいですよと、それを教えられる教師を目指したいです。論語は今でも日々の暮らしを豊かにする格言に使われます。それは普遍性があり、現代に通用する教えに溢れているからでしょう。古典に描かれる恋愛感情にしても現代とそう変わるものではありません。だから面白いわけで、この面白さを若い人を含めた多くの人に知ってもらいたいということです。

文学部中国文学科 2年 埜中 菜由

博報教職育成奨学金

博報堂教育財団が2018年から設置している博報教職育成奨学金は、「次代を担う児童の豊かな人間性の育成の実現」にはその担い手となる教育者の働きが重要であるとの考えに基づき、その担い手たる教育者及びそれを目指す有為な人材を育成し、教員または教員を目指すものとして必要な経験や専門的知識を高めていくことを目的とした奨学金制度です（博報堂教育財団ホームページより）。

受給の対象となるのは、財団が指定する「奨学生推薦依頼大学」の学部在籍する学生で、かつ小学校教員、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員のいずれかを目指す者のうち、学内選考を経て財団に推薦された者となっています。私立大学の場合、奨学金額は年額120万円（月額10万円）、受給開始年度の4月から学部卒業まで受給されます。

令和元年度の奨学生推薦依頼大学は、全国59の大学で計100名程度と狭き門ですが、そのひとつに國學院大學が選ばれました。令和2年3月現在、文学部では2名の受給者が在籍しており、教員を目指して日々頑張っています。

國學院大學には、学生が目指すキャリアに近づくための各種資格課程があります。学部教育での学びを自分の将来につなげる、資格という「かたち」にする、新しい自分の可能性を探るなど、動機はさまざまですが、自ら目標を設定し、チャレンジする学生が数多くいます。

博物館学課程

学芸員は、博物館法第4条第3項の規定に基づいて博物館に配置される専門職員で、本課程を終了すると国家試験免除で国家資格である学芸員資格を取得することができます。学芸員は、博物館資料の収集・保管・展示・調査研究や教育活動などを職務内容としています。

本学では、専ら人文科学系の博物館に必要な学芸員を養成しています。特に実習には力を入れており学芸員として赴任の直後から、具体的な実務を完全とはいかないまでも遂行できるよう、博物館資料に関する基本的な知識と技術の修得を教授することを目標としています。

なお、本学で所定の単位を修得した場合、「学芸員となるための単位修得証明書」を卒業時に交付します。

図書館司書課程

図書館法は、公共図書館の専門的職務にあたる職員を司書および司書補と定めています。

本課程では、公共図書館で働くための専門者の育成とともに、国立国会図書館、大学図書館、専門図書館などでの「司書」という職種にも活かせる資質を養成します。最近では、大型書店・書籍流通業・情報産業ならびに一般企業でも司書資格を求める傾向がみられます。本課程は、図書館資料および学術情報の選択収集・整理・保存・利用に関する専門の知識と技術の習得が中心となりますが、情報社会におけるスペシャリストとしての資質の養成も視野に入れています。

なお、本学で所定の単位を修得した場合、「図書館司書となるための単位修得証明書」を卒業時に交付します。

学校図書館司書教諭課程

学校図書館法には、すべての小・中・高等学校(および特別支援学校の小学部・中学部・高等部)に学校図書館を設けること、その専門的職務を掌らせるために司書教諭を置くこととされています。12学級以上の規模の学校では、この司書教諭を置くことが義務付けられています。司書教諭は、教科を担当できる教諭であるとともに、メディア・リソース・センターとして学校図書館を管理運営し、児童・生徒の読書活動と情報活用能力の育成を図り、教師の教育活動を支援することを職務内容としています。

神職課程

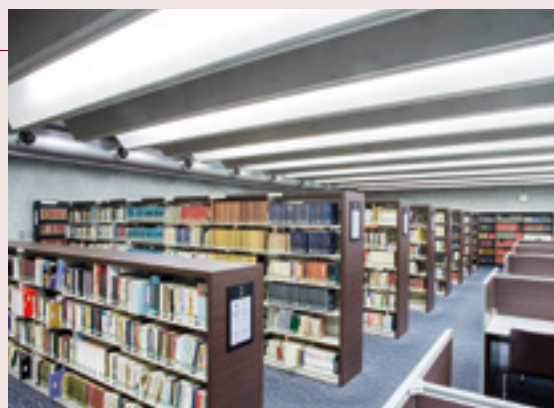
神社本庁所属神社の神職となるためには、『定められた「階位」(神職資格)』を有することが必要となっています。本課程は、神社界で大いに活躍できる人材を養成することを目的として設置されています。

國學院大學図書館

質・量ともに「より使いやすい」図書館

明治15(1882)年の創立以来、本学図書館は長きにわたって神道・国史・国文・国法関係を中心に、広く文献資料の収集を続けています。その結果、現在では160万冊以上の蔵書数を誇り、人文科学研究における日本屈指の図書館として知られています。

学術メディアセンター棟には、180万冊収蔵可能な広大なスペースを確保。文献を自由に手に取って見ることができる開架書庫(2階)や自動書庫(地下2階)システムを導入しており、資料調査に要する時間が短縮できます。さらに、自然光を取り入れた閲覧スペースや、勉強会・研究会などの活動に利用できるグループ学習室を3室設置するなど、研究教育環境のより一層の整備・効率化を進めました。図書館や資料室・研究室などの所蔵資料を蔵書検索システム「K-aiser」(カイザー)で検索できるほか、貴重な資料やコレクションは「図書館デジタルライブラリー」で閲覧することができます。



國學院大學図書館(渋谷)



林 道義 さん 上里町教育委員会 町立郷土資料館 文化財係 主事

史学科 平成28年卒業／大学院文学研究科博士課程前期 史学専攻博物館学コース平成30年修了

私は平成28年度より、埼玉県北部の上里町立郷土資料館で文化財の保護や学芸員の仕事をしています。小さな館ですが、初めて触れる仕事に戸惑いつつも、驚きと感動に満ち溢れた日々を送っています。ところで、皆さんは博物館や学芸員と聞くと、どのような仕事を想像するでしょうか。当資料館では、館内の管理だけでなく、文化財保護に関する事務、地域の学校での出前授業、遺跡の発掘調査など、様々な業務を行っています。もちろん、仕事の内容は個々の館や自治体によって、多少異なると思います。しかし、学芸員が過去から現在の人々へ文化財の持つ価値を伝えるという点は、全国、どの館でも同様です。この仕事をするようになって以来、過去と現在を繋ぐ懸け橋になれるよう、模索する日々が続いています。



竹内 夏奈子 さん 東京海洋大学学術情報課情報サービス第二係

日本文学科 平成26年卒業

私は現在、東京海洋大学越中島キャンパス図書館に勤務しています。在学中に履修した図書館司書課程の授業は、どれも印象に残っています。

特に、レファレンス(利用者からの質問に資料を調べて回答する業務)の演習授業では、実際に図書館に寄せられた質問が毎回課題として出され、インターネット検索では十分な情報が集まらず、さまざまな資料を調べる必要があり、かなり苦戦しました。ですが、質問者が求める情報を見つけた時は嬉しく、他の学生の調べ方もとても参考になりました。この授業を通じて、膨大な情報の中から利用者の求める情報をつなぐ、架け橋となるような図書館職員を目指したい、と強く思うようになりました。

この思いは、今も大事な目標となっています。



瀧 孝平 さん 高輪神社権禰宣

日本文学科 平成27年卒業／大学院文学研究科文学専攻博士課程前期 平成29年修了

私は文学部日本文学科に所属していましたが、実家が神社であることから神職課程を履修しました。文学部に所属しながら神職課程を履修するという事は、自分の所属する学科の専門科目に加え、神職資格に必要な科目を70単位以上修得しなければなりません。

私自身の経験から言えば、文学部所属の学生が神職課程を履修することで学び得られることや経験は本当にかげがえのないものです。文学部で古典や歴史を学ぶにおいて、当時の時代背景や宗教文化の理解は不可欠です。神職課程の授業では、神道の視点や立場から様々なことを学ぶことができます。私も日本文学科の学生として神道を学んでみて、大変というよりも、寧ろ、有意義で濃密な4年間だったと実感しています。

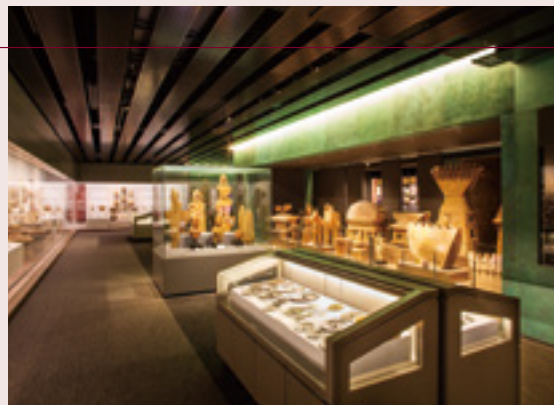
國學院大學博物館

先人の叡智を受け継ぎ、研究成果を発信する

國學院大學博物館は、大学が有する数々の学術資料や研究成果を発信する施設です。

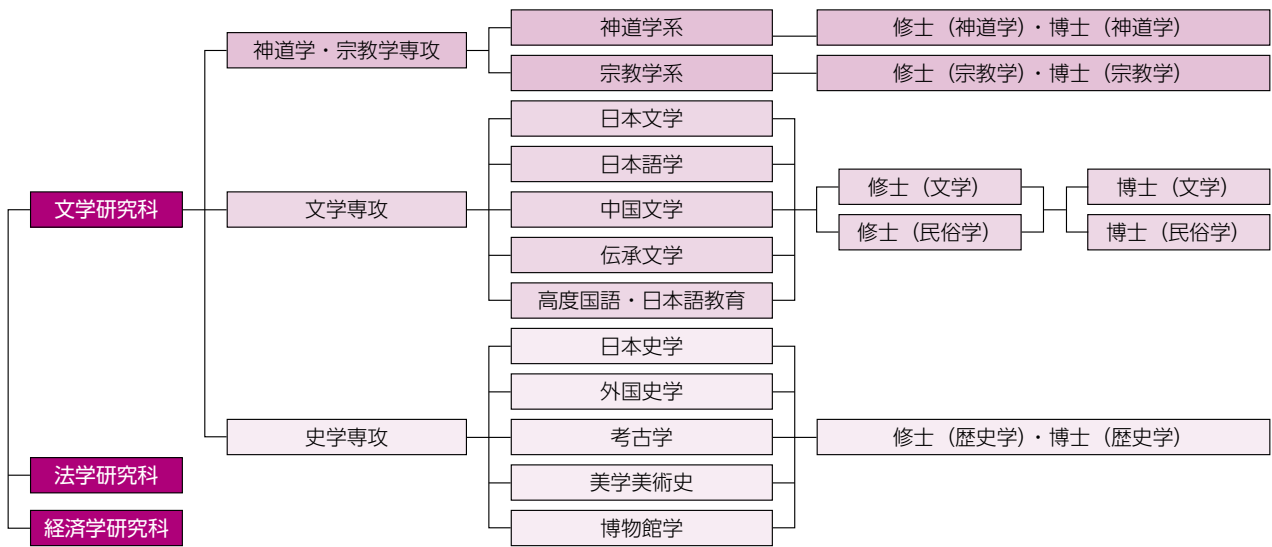
そのルーツは、昭和3（1928）年に創設された「考古学陳列室（後の考古学資料館）」にまで遡ることができ、昭和38（1963）年に開設された「神道資料室（後の神道資料館）」との統合や、平成19（2007）年に採択された文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業「モノと心に学ぶ伝統の知恵と実践」の研究成果を公開する「伝統文化リサーチセンター資料館」を経て、平成25（2013）年4月に「國學院大學博物館」と改めました。

館内は、考古「遺跡に見るモノと心」、神道「神社祭礼に見るモノと心」、校史「國學院の学術資産に見るモノと心」の3つの展示室と、よりテーマを明確にした研究成果を公開する企画展示室で構成されています。



國學院大學大学院

伝統と実績を誇る歴史ある大学院。優秀な研究者と高度な専門職業人の育成に努めます。



■学位の取得

博士課程前期（修士）の標準在学期間は2年で、30単位以上を修得し、修士論文または特定の課題についての研究成果（リサーチ・ペーパー）の審査に合格すれば「修士」の学位が授与されます。博士課程後期の標準在学期間は3年で、12単位以上を修得し、博士論文の審査および試験に合格すれば「博士」（課程博士）の学位が授与されます。

■修了後の進路

各研究科で人材養成の目的が明確になっており、各自の専門分野を活かした就職を目指して、研究活動への真摯な取り組みと意欲が結果につながっています。また、後期課程進学や特別研究生として研究を継続する学生も見られます。

◆文学研究科の主な就職分野

教員（大学、高校、中学）、研究員（研究機関・財団）、公務員、学芸員（各種博物館）、神社界、非営利団体、出版など

文学研究科文学専攻日本文学コース 博士課程前期2年

柏木 義樹

(平成31年3月修了)



皆さんはこれからの大学における学びの中で、たくさん先人の知見を受け取るはずですが、そしてレポートや演習発表などを通じて、少しずつ「問いを立てる」ことの大切さに気付いていくと思います。分からないことに対してどんな仮説を立て、どのように論証していくのか。学問とは、たぶん想像以上にダイナミックで面白い営みです。ここではさらに深く学びたいという人に向けて、大学院という道を紹介します。

大学院は基本的に博士課程前期二年間（修士）、後期三年間（博士）に分かれていて、各分野の専門的な勉強ができます。私は日本文学の中でも上代文学を専攻しています。普段の演習授業では『古事記』を精読しており、写本を校合して本文を定め、用例を検討して訓読や語釈を考えています。私個人の研究テーマは「万葉集の享受史的研究」というもので、『万葉集』の歌が中古や中世の人にどのように理解されたのかを研究しています。一見バラバラな研究をしているように思えるかもしれませんが、過去の人々がいかに古典と向き合ってきたのかという問いは、そのまま、現在の自分がいかに古典と向き合うのかという問いになります。「稽古」と「照今」（古を稽へ、今を照らす）ということばが『古事記』にもありますが、まさに古くて新しい問題なのです。

また大学院では学会で発表したり論文を書いたりする機会があります。それはアカデミックな世界に飛び込み、新たな知見を生み出すことです。当然「産みの苦しみ」はありますが、乗り越えたときの喜びは他に代え難いものがあります。大学卒業後のことなど気の早い話だと思われるかもしれませんが、しかし学びの渦に巻き込まれると四年間はあっという間です。ちなみに教員志望の人も、専門性を高めることは公立私立ともに重要ですから、ぜひ大学院という進路も視野に入れてもらいたいです（実は給料も違う）。何より、学んで問うことの醍醐味を大学院でも味わってみませんか。

【資料請求・お問い合わせ】 國學院大學大学院事務課 ☎03-5466-0142 ✉daigakuin-j@kokugakuin.ac.jp

國學院大學奨学金制度について

國學院大學では独自の奨学金として、勉学への熱意を経済面から支援するとともに、自ら多面的な能力、可能性を伸ばし、夢の実現に向けて学業に専念できるよう、目的に応じた各種奨学金制度を用意しています。令和元年度現在、20種を超える奨学金制度があり、すべて返還の必要がない「給付型」です。その中のいくつかをご紹介します。詳細は、大学公式HP（ ）受験生の方）入試情報・学費）学費・奨学金）、また入学後に実施されるガイダンス等でご確認下さい。

平成30年度更新HPから抜粋し、平成31年度＜奨学金のご案内＞リーフレットに基づき追加

I. 学業奨励支援

特に優れた学業成績を修めた者を表彰し、さらにその能力を伸ばし勉学を奨励することを目的とする制度です。

● 國學院大學成績優秀者奨学金制度

【対象】 学部学生2年生以上

II. 修学経済支援

向学心と勉学への熱意を持ちながら、経済的理由で修学が困難な学生に対して、学費の負担を減らし、学業の継続を支援する制度です。

● 國學院大學修学支援奨学金制度（前期・後期）

【対象】 経済的に困窮し、修学意欲が認められる学部学生、令和2～4年度は弘田ふるさと奨学金採用者のみの支給

● 大規模災害学費減免制度

【対象】 大規模災害により被災し、修学が困難になった学部学生1～4年生で日本学生支援機構奨学金の受給者または採用予定者

● 國學院大學若木育成会学費等支援制度（リーフレットに基づき追加）

【対象】 入学後、家計支持者の経済状況が急変した学部学生1～4年生

● ふるさと奨学金（新規：V.特定寄付金による支援）

【対象】 全学年、家計が困窮している地方出身者（1都3県を除く）の新入生であり、自宅外通学者かつ学業成績良好な者

● コピー奨学金（V.特定寄付金による支援：リーフレットに基づき追加）

【対象】 向学心があり経済的理由により修学が困難な者。学部学生1年生以上

III. 海外活動支援

國學院大學と協定を結ぶ海外の大学への留学を希望する学生に対して、経済的負担を減らし、支援する制度です。

● 國學院大學協定留学及び認定留学奨学金制度

【対象】 協定留学又は認定留学に参加する者

● 國學院大學 Semester 留学助成金制度

【対象】 Semester 留学に参加する者

● 國學院大學短期留学グローバル・チャレンジ奨学金制度（新規：リーフレットに基づき追加）

【対象】 本学が実施する短期留学プログラムに初めて参加する学部学生のうち、優れた学修成果を収めた者

● 國學院大學協定留学「標」奨学金制度（新規：リーフレットに基づき追加）

【対象】 2学期間の協定留学を國學院大學より許可され、留学先大学への留学手続きを完了した学部学生のうち、特に優秀と認められた者

IV. 進路支援

各試験に向けた準備のため、本学が指定した講座（セミナー）に参加した学生に対して、講座等の受講費を支援する制度です。

● 教員採用候補者選考試験支援奨学金制度

【対象】 教職課程履修者の学部学生3年生以上（子ども支援学科生は2年生以上）で、成績上位の者。教員採用試験を受験し、本学の指定する講座等を受講すること

● 教職支援奨学金（V.特定寄付金による支援：リーフレットに基づき追加）

【対象】 卒業後、教職を志す堅固なる意思を持つ者。学部学生2年生以上

V. 特定寄付金による支援

本学の元教員、卒業生、元職員、学生のご遺族の寄付金により制定され、目的に応じて給付される制度



活躍する卒業生

漫画家

近藤 ようこさん

文学部 昭和55年卒業

大学に入る目的は人それぞれで、また特に目的が決まっていない人もいます。私もそうでした。

ただ、せっかく大学で学ぶなら自分が好きなこと、興味のあることにしようと思っていました。それは高校までの教科書での授業では学べないことでもあります。

私は民俗学や神話学に興味がありました。授業でそういう学問に触れるのは、とても新鮮でスリリングな体験でした。

しかし、本当に勉強が必要だと知るのは卒業した後です。社会に出て仕事をしたり、趣味を極めようとしたりする時、自分に必要なものがわかってきます。

私は幸いにも、大学での勉強が今の仕事に役立っていますが、在学中にもっと積極的に勉強しておけばよかったと思っています。もちろん学生時代は遊ぶことも大事なのですが、若くてエネルギーのある間に、存分に学ぶという贅沢も味わっていただきたいと思います。

作家

諏訪 哲史さん

哲学科 平成4年卒業／平成19年
芥川賞受賞・群像新人文学賞受賞

僕は学生時代、自分がこの長く苦しい人生を何の義務があつて最後まで生き続けてゆかなければならないのか解らず、深く悩みました。皆さんは今なぜ生きているのですか。苦しくないのですか。すでに完全な達観に至っていれば一切の苦はないでしょう。でも若い皆さんに苦しさはあるはず。その生をなぜ生きるのか。

生きると決めた後の人が、人生をより長く、より便利にするものが医学や工学です。文学はその手前で必死に息をつめて考えている孤独者に囁きかける学です。文学も、また哲学も、「生きる」というこの自分のおかれた状態、「生から死までの限りある不可解な線分」とはいったい何なのか、それに自分なりの「言葉」を与えるための知です。「生きる」を考える営みこそ、もっとも激しく生きることなのです。生を燃焼させず、この世界と格闘もせず、ただ老いて死ぬますか。僕はできませんでした。だから文学・哲学ほか、諸芸術の扉を叩いたのです。

能楽師

森 瑞枝さん

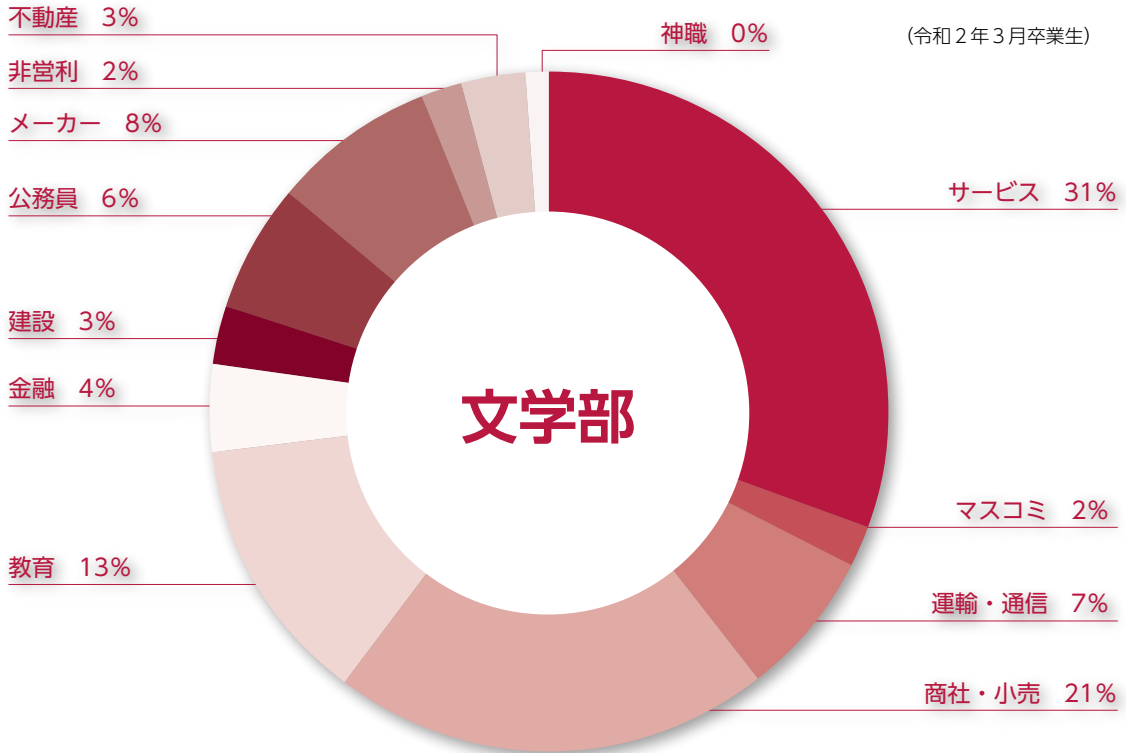
文学部 昭和59年卒業／大学院文学
研究科博士後期課程 平成元年修了

私が國學院大学の学生になった理由は、田舎の学校や家族との生活から脱出し、自由を確保するためでした。とりあえずの所属にすぎません。國學院の魅力は、まず、立地です。なので、興味にまかせて映画を観まくり、博物館美術館を巡り、書店で眺め暮らしました。

意外にも、単位合わせの物理や生物数学など理系の一般教養科目が高校までとはまるで違って面白く、興味の幅も行動範囲も広がりました。さらに意外にも、映画美術批評でしばしば目になっていた種村季弘氏が國學院の教授だと気づき、勝手に熱心に受講しました。そして話題に出た事からを確めに図書館や街に出る。

種村氏の講義はどれも素敵な本になりました。授業は創作の現場だったのです。種村先生だけではありません。大学の授業は本来、研究の前線に立ち合う場です。

大学生には金はなくても時間はある。体力もある。時間を自分のためにつかい、自分の興味を尊重して考え動くなら、大学はあなたが自分に正直に生きてゆくための、最初の足場となるでしょう。



サービス

NTT東日本-南関東
東京瓦斯
パレスホテル
プリンスホテル
星野リゾート・マネジメント
マイナビ
明治記念館
楽天

マスコミ

岩手朝日テレビ
サイバーエージェント
産業経済新聞社
テレビ新広島
日本農業新聞
日本放送協会
博報堂
USEN

運輸・通信・旅行

エイチ・アイ・エス
ANAエアポートサービス
ANA成田エアポートサービス
近鉄エクスプレス

KNT-CTホールディングス
(近畿日本ツーリスト)

KDDI
JTB
JALスカイ
鈴与
西武鉄道
全日本空輸
東海旅客鉄道 (JR東海)
東京急行電鉄
東京地下鉄
西日本旅客鉄道 (JR西日本)
日本航空
日本通運
東日本旅客鉄道 (JR東日本)
郵船ロジスティクス

商社

伊藤忠食品
国分グループ本社
ダイソ
ダイワボウ情報システム
トーハン
ニトリ
日本アクセス
日本出版販売
マクニカ

丸紅
三井食品
三菱食品

小売

イオンリテール
セブン-イレブン・ジャパン
そごう・西武
ファーストリテイリング
ファミリーマート
三越伊勢丹
ローソン

金融

みずほフィナンシャルグループ
三井住友銀行
三菱UFJ銀行
りそなホールディングス
SMB C信託銀行
青森銀行
鹿児島銀行
群馬銀行
静岡銀行
七十七銀行
千葉銀行
商工組合中央金庫
中央労働金庫

大和証券
野村證券
みずほ証券
あいおいニッセイ同和損害保険
住友生命保険
第一生命保険
日本生命保険
明治安田生命保険
クレディセゾン

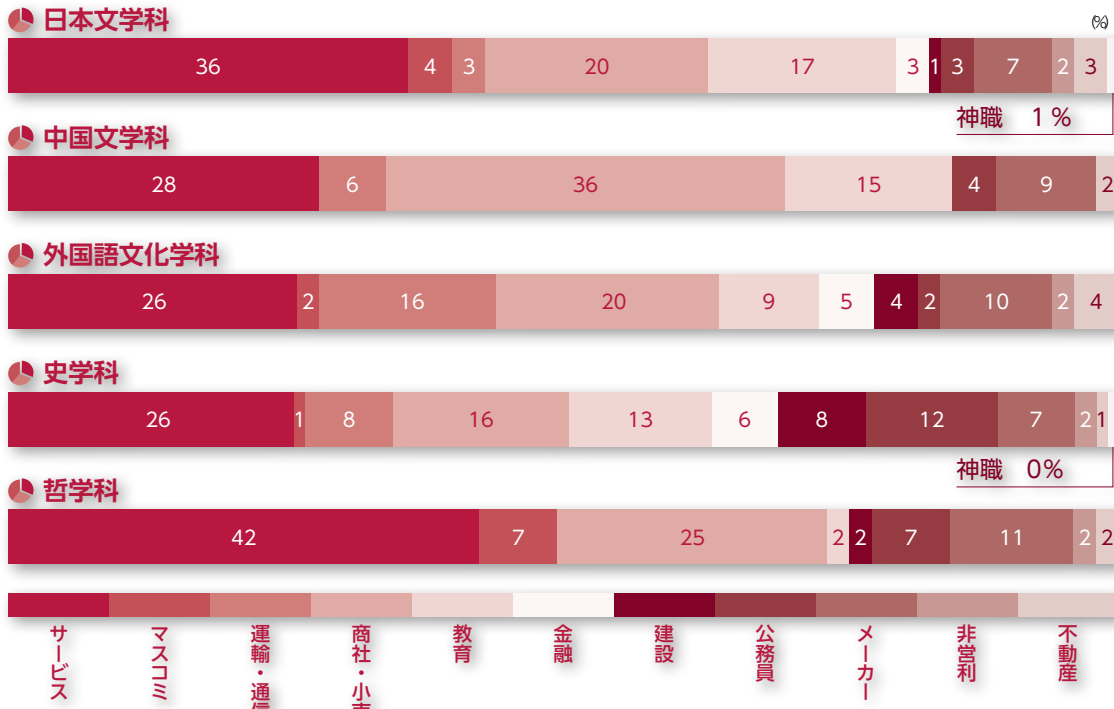
建設・不動産

旭化成ホームズ
関電工
積水ハウス
大成建設
東亜道路工業
東急建設
東急リパブル
松井建設

メーカー

アイリスオーヤマ
岩下食品
NTN
カゴメ
関東グリコ
キリンビバレッジ

(令和2年3月卒業生)



※小数点以下を四捨五入しております

- コーセー
- JFEプラントエンジニア
- 塩野義製薬
- 資生堂
- 新日鐵住金
- スズキ
- 住友化学
- ゼリア新薬工業
- 大王製紙
- 太平洋セメント
- 大陽日酸
- 田辺三菱製薬
- THK
- 東芝
- 凸版印刷
- 日本信号
- 久光製薬
- 日立金属
- 富士通ゼネラル
- ブリヂストン
- 三菱自動車工業
- 三菱電機
- 横浜ゴム

非営利・神社

- 神奈川県国民健康保険団体連合会
- 千葉県国民健康保険団体連合会

- 日本赤十字社
- 日本年金機構
- 大國魂神社
- 大宮八幡宮
- 日枝神社
- 靖國神社

国家公務員

- 海上自衛隊
- 航空自衛隊
- 国土交通省
- 陸上自衛隊
- 労働基準監督署

地方公務員

- 足立区役所
- 板橋区役所
- 市川市役所
- 大田区役所
- 神奈川県警察本部
- 神奈川県庁
- 鎌倉市役所
- 川崎市消防局
- 川崎市役所
- 警視庁
- 郡山市役所
- 埼玉県庁

- 渋谷区役所
- 島根県庁
- 世田谷区役所
- 千葉県警察本部
- 栃木県庁
- 長崎市役所
- 中野区役所
- 長野県警察本部
- 練馬区役所
- 船橋市役所
- 三鷹市役所
- 目黒区役所
- 盛岡市役所

教員

- 北海道公立小学校・中学校・高等学校
- 山形県公立高等学校
- 宮城県公立高等学校
- 栃木県公立中学校・高等学校
- 茨城県公立中学校・高等学校
- 群馬県公立中学校・高等学校
- 埼玉県公立小学校・中学校・高等学校
- 千葉県公立小学校・中学校・高等学校
- 東京都公立小学校・中学校・高等学校
- 神奈川県公立中学校・高等学校
- 長野県公立小学校・中学校・高等学校
- 静岡県公立高等学校

- 愛知県公立中学校・高等学校
- 富山県公立中学校
- 岐阜県公立高等学校
- 広島県公立小学校
- 福岡県公立中学校
- 國學院高等学校
- 國學院大學久我山中学高等学校
- 私立中学校・高等学校 多数

進学先

- 学習院大学大学院
- 京都大学大学院
- 中央大学大学院
- 筑波大学大学院
- 東京学芸大学大学院
- 東京芸術大学大学院
- 一橋大学大学院
- 法政大学大学院
- 明治大学大学院
- 横浜国立大学大学院
- 立教大学大学院
- 早稲田大学大学院
- 早稲田大学大学院
- 國學院大學大学院

(平成28年3月～令和2年3月卒業生)

「日本を学び世界を知る」には、世界の知識を身に付けるだけでなく、異文化と触れ合う経験が不可欠です。國學院大學は世界に広く扉を開いており、異文化に直接触れて体感するさまざまなサポートを行っています。

國學院から世界へ

セメスター(1学期間)留学

協定校への1学期間の留学プログラムです。より高いレベルでの語学力習得と、文化理解を目的とします。平成29年度の留学先は、英語圏はミズーリ大学(米国)、マニトバ大学(カナダ)、クライストチャーチ工科大学(ニュージーランド)、中国語圏は復旦大学(中国)、南台科技大学(台湾)でした。いずれも全学部全学科の学生が対象です。

夏期・春期短期留学

夏、春の長期休暇を使って、海外協定校での外国語集中プログラムに参加します。毎年計100人前後の学生が参加する留学入門プログラムです。

協定(1学期間～2学期間)留学

交換留学生として海外協定校へ1学期間または2学期間派遣される制度です。留学先の一般学生と同じ授業に参加することを原則とするこの制度を通じて、グローバルな視点から日本文化を相対化して位置付け、世界に発信できるような人材の育成を目指します。

協定留学：中国・南開大学



鈴木桃奈 外国語文化学科

私は天津の南開大学に約10ヵ月間留学していました。そのような長い期間に異国の地で生活することにももちろん不安もありましたが、それよりも中国語を上達させたいという気持ちの方が強く、留学への決意は意外とすんなりつきました。しかし、留学の初めは、ホームシックで日本に帰りたいと思う時がかなりありました。そして、留学中の授業は全部中国語で行われ、最初は全く聞き取れず、それでも周りの外国のクラスメートは聞き取れて授業にも積極的に発言している、そのような中国語のレベルも高く、中国語を本気で勉強したいという外国の留学生に圧倒され、私は正直、場違いでクラスの中で置いていかれているような孤独感を感じました。その時が留学で本当に辛い時期でもありましたが、ほとんどの留学生がきっと通る道で、留学から二か月が過ぎてしまえば、留学当初のさまざまな不安は忘れたかのようになくなっていくのです。それと、私の留学では中国のみならず、韓国やインドネシアなどの外国の友達と出会えたことで、中国語を通じてお互いの国や言語を共有し合えたことも貴重な経験でした。

長い協定留学はすべてが楽しいことは言えませんが、その期間に異国の地で頑張ってきたことは自分の一生の自信にもなり、中国語力も圧倒的に伸びました。留学から帰ってきて私が思うことは、現在、長期の留学に行くかどうか悩んでいる方はぜひ勇気を振り絞って留学に行くべきだと思います。

セメスター留学：中国・復旦大学



橋爪友祐 中国文学科

私はセメスター留学に参加して本当に良かったなと思います。中国語を学べるのはもちろん、他国の文化や伝統、価値観など様々な事を学べたからです。私はバスケットボールが好きで、現地でもサークルに所属していました。そこでは様々な国の人がいて、週2日練習があり、週末に試合があるというような感じでした。初めはなかなか思っている事が伝わらず苦労しましたが、バスケットは世界共通なので、日々プレーしていくうちにコミュニケーションが取れるようになって、様々な国の人たちと交流を深めることが実感でき、とてもいい経験をするこ

ができました。

私にとって留学の4か月は、終わってみると本当にあっという間でした。語学学習にとどまらず、この期間をいかに有効に使うのが本当に大事だと思います。慣れるまでは大変でも、帰って来た時には必ず「行って良かった！」と思えるはずです。せっかく貴重な経験をしているので、積極的に外に出て多くの人たちと交流する事を心がけてみてください。それがきっと語学上達の鍵だと思うので、自分次第でどこまでも充実した時間になると思います。自分から積極的に話しかけたりして、行動することが自分を成長させてくれると思うので、是非セメスター留学に参加して多くの事を学んで自分のこれからの糧にしてほしいと思います。留学中にできた友達は今でも交流があるかけがえのない友達です！

セメスター留学：米国・ミズーリ大学



堀田莉加 外国語文化学科

4か月のセメスター留学は、短いようで、私にとって人生の転機となりました。私は留学当初にまず「日本語を使わない」ことを目標にし、外国人と行動をし、先生に一对一の会話タイムを設けてもらうなど、英語しか使えない環境作りを徹底しました。この経験は、英語力の大幅な向上だけでなく、私を消極的な性格から積極的で行動的に変えました。4か月の留学は、なんとなく受け身で過ごしてはとっても短い期間です。しかし逆に、自分の過ごし方次第で十分に成長できる期間だと思います。英語力向上や特別な経験、自分の短所の改善を望む人は、ぜひセメスター留学に挑戦してみてください！中でもミズーリ大学は、日本人が少なく、また外国人クラスメイトとの寮生活なので、留学に最適な環境でおすすです。

セメスター留学：ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学



安藤まつり 外国語文化学科

「あっという間だった。」皆が声を揃えて言った言葉だ。私が行ったクライストチャーチは、東京の雰囲気とは全く異なり、自然豊かで静かな街だった。またクラスには多国籍の生徒が集まり、常に違う価値観の中で生活をした。何もかもが新鮮で毎日が本当に充実していた。私はこの留学で、今何をすべきなのか、なぜこの行動をするのか、毎日自分に問いかけながら生活する大切さを学んだ。一瞬で過ぎ行く新鮮な日々を、無駄なく吸収する為には、目的意識が非常に重要だったのだ。

英語の向上を目的とした留学だったが、自分という人間を大きな枠で捉え、客観的に見つめ直すことができる最高の機会だった。考え方次第で、物事は大きく変わる。あっという間の時間をどう過ごすのか、今一度深く考えていこうと思う。

短期留学：中国・復旦大学



飯塚絵美 外国語文化学科

私は2年次の春期休暇に中国の上海にある復旦大学に短期留学をしました。2年間大学で中国語を勉強する中で、現地で中国語を学んでみたいという思いが強くなり、短期留学に参加しました。留学で最も苦労した点はリスニングです。授業は全て中国語で行われましたが、初めは全く聞き取ることができませんでした。

また生活する中でも、相手の言っていることが理解できずコミュニケーションがうまく取れないということも多々ありました。そのため授業では聞くことに重点を置き、分からないことは積極的に中国語で質問をしました。すると徐々に相手は何を言っているのか聞き取れるようになり、とてもうれしかったです。1ヶ月という短い期間でしたが、日本で勉強している時には感じることはできない喜びや発見があり、とても良い経験になりました。

外国人研究者の学術交流

日本文化・社会に関連する分野の研究者が世界各国から招聘され、國學院大學で研究成果を挙げています。また、キャンパスでは外国人研究者を招いてのシンポジウムなども行われています。

留学生との交流

國學院大學では、学部、大学院、交換留学生合わせて約130人の留学生が学んでいます。交換留学生の生活・日本語学修支援、勉強会、訪問授業や料理教室など各種イベントを通じ、交流を深めることができます。

交換留学生の受け入れ

國學院大學では協定校から毎年20人程度の交換留学生を受け入れています。K-STEP (Kokugakuin Short-Term Exchange Program) は交換留学生向けプログラムで、日本文化・社会を英語で学ぶ科目では一般の学部生と共に学んでいます。

世界から國學院へ

協定留学：中国・復旦大学



三井ゆり 中国語学科

留学では授業や学修をきっかけに現地の学生と知り合い交流し、人々の日常とそこに息づく文化を自ら体験することによって、机に向かう勉強だけでは学べない現代中国のリアルな姿を知ることができました。私はそうした文化や中国語を学ぶだけではなく、中国語で自分の専攻や興味のある分野の知識を深めたいと思い、協定留学を選びました。

留学先では自分で授業を選択して、現地の一般学生と共に専門性の高い授業を受けます。私の場合、民俗文化や現代中国について興味があったので、留学中は文学の領域に限らず様々な授業を受けていました。留学してすぐは聞き取れない授業も多かったのですが、徐々に理解できるようになり、自分が興味のある分野について新たな知識を得られる喜びも深まってきました。それをモチベーションに勉強を頑張ることができました。

今までの語学の学修からさらに一歩進み、様々な分野の知識を深められました。そして、単身海外へ渡り何事も自力で乗り越えて、精神的にも大きく成長できた一年でした。一人で臨んだ協定留学だったからこそ、得られた経験です。

短期留学：カナダ・マニトバ大学



中村万里渚 外国語文化学科

外国の文化を身近に感じたい！と思い、夏季休暇の留学に参加しました。私が行ったカナダの短期留学プログラムはホームステイだったので生活習慣や、日常の英会話をより身近に感じることができました。現地の学校では授業だけでなく様々なアクティビティがあったので、英語だけでなく、人々との交流の中からも学ぶことが多くありました。二週目に行ったPEIの小旅行では動物とふれあったり、夜空いっぱい埋め尽くされた星を見たりと、今まで見たこと、感じたことのない大自然に感動しました。

たった1ヶ月という短い期間でしたが、この留学を通して、英語を話す・聞くことに対する抵抗をなくすることができました。また、カナダの文化を知るとともに、改めて日本の文化の素晴らしさに気づき、誇りに思えました。

ボランティアステーション

ボランティアステーションでは、國學院大學が企画・運営するボランティア活動への支援、学外のボランティア団体のボランティア情報の紹介、大学の事業・業務に学生スタッフとして参画する「学内ワークスタディ」情報の発信を主として行っています。また、ボランティア活動をしたいという学生に対しての相談も受け付けています。特に、学生が主体となり、2020年に開催される五輪に向けたイベントの運営・企画など、積極的に活動しています。

ボランティアに興味がある方、ボランティア活動してみたいという方、気軽に相談に来てください。



学生アドバイザー

私たち学生アドバイザーは、入学課の下で在学生の視点から國學院大學の魅力を中心として受験生に伝える学生団体です。主に、①オープンキャンパスの企画・運営 ②学内SNSの運営 ③キャンパス見学会でのツアーガイド ④その他受験生に向けた広報の企画・実行などを中心に活動しています。自分自身の受験時や現在の学生生活の経験を活かし、より多くの國學院ファンを獲得するため日々奮闘しています!!

私たちと共に國學院大學の魅力を伝えたい!!と考える方は渋谷キャンパス若木タワー1階入学課までお問い合わせください!皆さんの入学を心からお待ちしております!!



エルダーサポーター

こんにちは!エルダーサポーターです。私たちは、入学式後のオリエンテーションや履修登録で、皆さんが「疑問に思うこと」や「不安(心配)に思うこと」を、これまでの経験を活かして、皆さんに近い「先輩」という立場からアドバイスやサポートを行うことを目的に活動しています。主な活動は、オリエンテーション期間中の皆さんのサポート、前期・後期履修登録期間までの基礎的な履修相談や大学生活相談などです。疑問に思ったことはどんなことでも良いので、一人で悩まず、気軽に相談してください。きっと解決すると思います。分からないことの多い新生者が気持ちよく大学生活を過ごせるように、皆さんの近くから全力でサポートすることを約束します!



その他の学内ワークスタディ

ノートテイク (NT)

聴覚障がい等により、学修における情報保障が必要な学生に対し、授業においてノートテイク・パソコンテイク等のサポートを行います。

スチューデント・アシスタント(SA)

大人数教室において、担当教員が授業に専念できるように、教員に代わり、教材の印刷・配付、出席カードやコメントペーパーの配付・回収・並び替えなど授業補助を行います。

國學院大學 文学塾 第四期塾生募集

令和三年(2021)三月開講予定

対象 高校生

会場 國學院大學 渋谷キャンパス

日本文学

中国文学

外国語・
外国文化

歴史学

哲学

文学塾とは…

高校生のための新たな学びの場です。伝統ある國學院大學文学部ならでの専門性の高い内容で、知的好奇心の強い皆さんの期待に応えます。学問の最先端を、ぜひ体験してください。

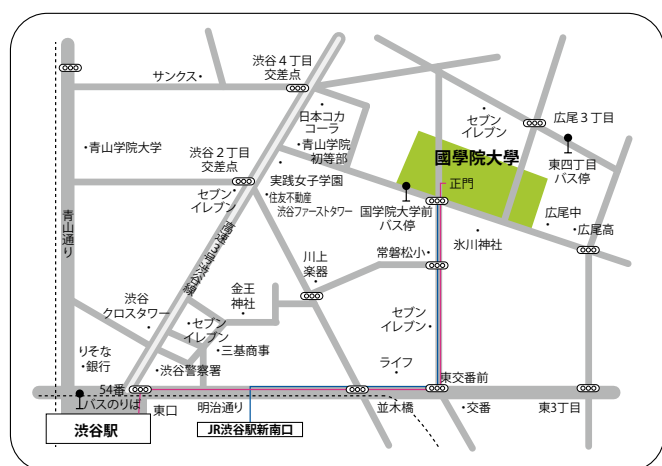
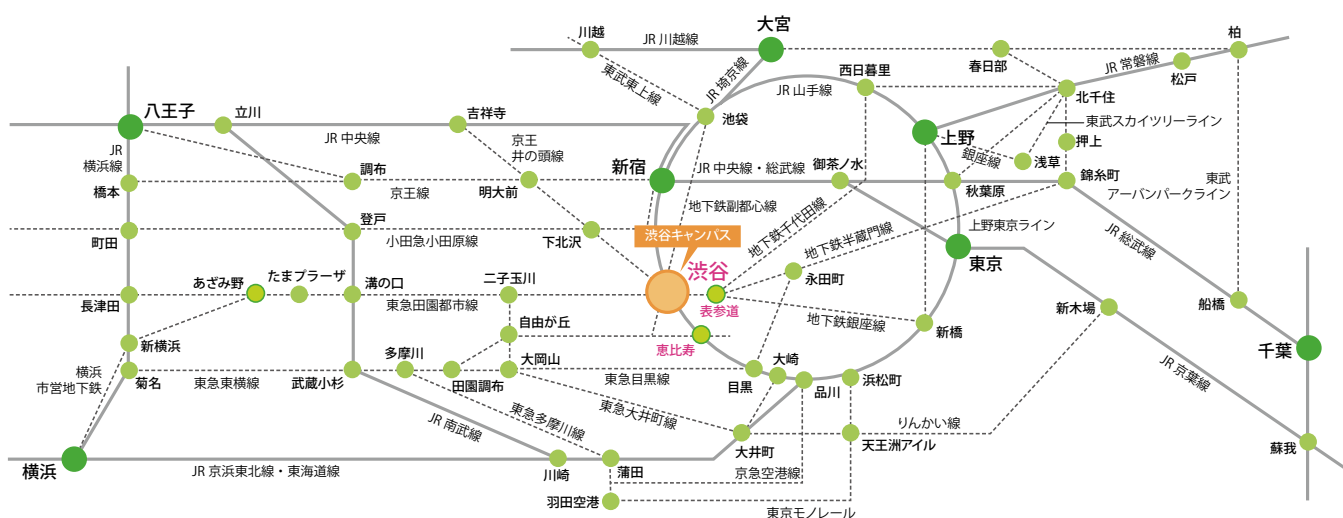
詳細は令和2年秋にお知らせします！

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

交通案内



渋谷駅から徒歩約13分

- ▶ JR (山手線・埼京線)
- ▶ 東京メトロ (銀座線・半蔵門線・副都心線)
- ▶ 東急東横線
- ▶ 東急田園都市線
- ▶ 京王井の頭線

渋谷駅から都営バス 学[03] (渋谷～日赤医療センター)

- ▶ 国学院大学前下車、徒歩1分

お問い合わせ先

国学院大学文学部資料室

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

E-mail bun_siryu@kokugakuin.ac.jp

国学院大学ホームページ

<https://www.kokugakuin.ac.jp/>

